天保乙未刊

俳諧手挑灯

六年

天保乙未新刻

俳諧季寄

掌中手挑燈

江戸書林万笈堂英氏梓

俳諧手挑灯

目録

一 四季之詞 但春三ヶ月にうくひ用ル季有三ヶ月に通ス季ハ右の下に●如此黒星を付置て四季共に同新

并 年中諸國祭礼

一 雑之詞

一 天象

一 賎物

一 降物

一 神祇 非神

一 釈教 非釈 并両部

一 戀 非恋
一 述懷 非述
一 居所 非居
一 夜分 非夜
一 衣服 非衣
一 生類
一 旅躰
一 無常 哀傷
一 人倫 非人
一 山類 非山
一 水邊 非水
一 食類
一 植物 同高低
一 器財 器財付

一 支躰 支体付
一 書躰
一 風躰
一 同字 字去之事
一 同付字之辨
一 月之辨
一 以呂波寄 手尓於葉大槃
一 名所 名所付
一 火躰
一 病躰
一 同別嗘
一 賦物取様
一 花之辨

一發句切字 并 發句 歌仙

以上

俳諧手挑灯

凡例

哥一首ハ 三十二字

表白ハ哥来にたとへ俳諧の香ハ妙の風ほもてふ所の香ハ心

篇序題曲流ト云

如此何つゝきハ義也

八文字ハ七五七 八十七字と上ミの句ト云

七文字ハ七五七 八十五字と下モの句ト云

上下合テ三十二文字也

上の句篇序題にそなへたるもの
又上の句曲流なるもの
謌の姿 六義也 風賦比興雅頌ト云
連歌俳諧ハ哥一首の上の句ハ二句に分てなるべし
連句ハ上の句にハ下の句と附下の句に上の句と附べし
哥仙ハ三十六句百員ハ百句するべ

發句トハ

一発の数の上に春夏秋冬ホトトギスの時くの事を入れ切字を入やすしうに句はくるべし 四季の句表如字入やうに所〳〵の数句のすべて来に載るべし 然ども春べし

脇トハ

ホトトギの句に数句とはし事を結ひ数句のもととなるべしうけく文字第一のあり連歌とハなるべしはやしと仕時俳連歌とハ俳生の数句に正月の事をいつべし正月のもの数句に俳生の数句に正月ハ正月の事二月ハ二月の事をすべし

第三トハ

上句の句をうけ極くをうけ一句のたけるく数句の体にあくるべしに三月にかるる事をすべし
・三つきにかるる事ハ正月より三月をにかるる事あり
・四季の句の数に

四季ともに用ひ
・前句ハいつくとても前句ハ
但こゝのてゝ時ハ前句らん前句も
・こゝのてゝハ口キの七文字ふての字肖時ハ分こて前句ハ

四句目ハ　雜の句こ　雜トハ季の句の外の紀句をいふ

五句目ハ　月の定座ハ月の句をもべし月ハ秋こ氏次秋二句ハ
秋こ句ハ付べくべし

六句目ハ　秋こ句ハ初裏こ氏用紙紙数　表　無常　述懷
雜の句をもせし
裏こ句ハ初裏ト云　嘉角　たいい
此次ハ紙　只数　表　無常　述懷　雜　何こもすべし

句者句

拂こも雲抽ともいふかせん百貫ホ絡りの句こ花表の
句のこゝハのもの句も表こ紙の句ハ紙ホ丁長ル余も准之
句数月花の定座等ハ表紙ホ表こ紙ホ丁長ル余も准之
ホ載る句限仕やうよく味ひあるべし

歌仙句數法

初表　六句　内五句ノ月の定座　六句ノ月ニ表ル
初裏　十二句　内七句ノ月　十二句ノ花　十二句ノ花ニ表ル
此十八句を一折とする

名残表十二句内十一句ノ月
同　裏六句内五句ノ花是とぶひの花と云
此十八句を一折
二折合テ三十六句也

百韵法

初表　八句内七句ノ月
同裏　一折十四句内九句ノ月　十三句ノ花
二ノ表　十四句内十三句ノ月
同裏　一折十四句内九句ノ月　十三句ノ花

三ノ表　十四句　右同断
同裏　一折十四句　右同断
名残ノ表　十四句　右同断
同裏　一折八句内七句ノ花句ひの花と此裏月なし
右四折合テ百員也
初メ二折を五十員ト云
四十四法

百員の初折ト名残の折ト合テ四十四句ナリ
右二折ニ月三ツ花二ツ法百員のこゝ
七十二候

百員の初折ト二ノ折ト名残の折ト三折合こゝ
右三折ニ月五ツ花三ツ法百員のこゝ

源氏法

初表　六句　内　五句ノ月　十一句ノ花
同裏　十二句　内　七句ノ月
二ノ表　十二句　内　十一句ノ月
同裏　十二句　内　七句ノ月
名残表　十二句　内　十一句ノ月
同裏　六句　内　五句ノ花　十一句ノ花

右三折ニ月五ツ花三ツ哥仙ノ法のごとし
哥仙ニノ折廿四句ごとくのごとし

米字（ヨジ）　八十八句

初表　八句　内　七句ノ月
同裏　十二句　内　七句ノ月　十一句ノ花

二ノ表　十二句　内　十一句ノ月
同裏　十二句　内　七句ノ月　十一句ノ花
三ノ表　十二句　右同断
同裏　十二句　右同断
名残表　十二句　右同断
同裏　八句　内　七句ノ花

右四折ニ月七ツ花四ツ

首尾（シュビ）

哥仙八　初表　六句　五句ノ月
名残裏　六句　五句ノ花　合テ十二句スルヲ云
百員八　初表　八句　七句ノ月
名残裏　八句　七句ノ花　合テ十六句スルヲ云

裏白　六句カ八句カ　表斗リスルヲ云

面白　十二句カ十四句カ　裏斗リスルヲ云

三ツ物　発句脇第三マテ三句スルヲ云

月　発句ハ脇ハ第三ニ出ル時ハ初表ノ月出ル

花　発句ハ脇ハ第三ニ出ル時ハ初裏ノ花ヲ出ス様ニ花ノ

様ニ出ル　一巡ハ第ニ出ル　四句メトリ初表ノ内ハ

ニ出ス

発句　発句ハ脇ハ発句ニ出ス

同　祝儀ハ祝儀ニ出ス　有リ無シ

同　尺数ハ尺数ニ出ス　有リ無シ

同　述懐ハ述懐ハ発句斗ニ出ス

同　外詠ノ時ハ外ニ詠ル

會席ハ　文台ニ祝儀ハ師匠ヲ飾家匠ヲ招待シ連中ニ合

連句ハ　高位ハ面白ハ高位ハ

一順（イチジン）トハ　発句より表席の人数皆第一句ツヽさるべきことなり

再遍（サイヘン）トハ　右の人数の句又一巡り巡ることなり

聯（ツレ）トハ　表裏秋冬三句ツヽ発句二句ツヽ表三句等続く

吟声（ギンセイ）トハ　句を言葉にらるることなり

回嶋（アザル）トハ　表人すゝ二句も三句も続くことなり

獨嶮（ドクギン）トハ　かせんとも百句とも表人すべきことなり

両嶮（リヤウギン）トハ　はゝ二人すべきことなり吟又吟も同じ

前句（ゼンク）トハ　我て付き人の句なり

遅吟（チギン）トハ　句作りのおそきなり

秀逸（シウイツ）トハ　もぐれて能句となり

巻頭（クワンドウ）トハ　発句なり

添削（テンサク）トハ　一巻の点を宗匠へ乞なり

即点（ソクテン）トハ　宗匠の出来なり

批言（ヒゴン）トハ　句の何きを字面ようこうあそきるなり

加筆トハ　句のかきかへとなをしてさ添るなり

褒美トハ　句を称美するなり

筆句トハ　連中のおに挑筆まりする句にくをあるさ句なり
挑筆句とは書しているなり

打越嫌トハ　付てハ打越しかゝぶしを二句取らるなり

二句去トハ　付句より二句取らるなり

三句去トハ　付てハ打越しかゝぶしを三句取らるなり

字去トハ　付句より三句へ取らるなり

五句去トハ　付句より五句取らるなり

夜雪や竹田の私ぢ養源月松桃燈五句去

けふ打雨うりてもみ句去

七句去トハ　付句より七句取らるなり

面去トハ　百員八面の一面とへらと云伝表も一ト面裏も一ト面とへらと
表裏のなもてにハかゝぶしく又やうぶし一ト面のゝくなり

折去トハ　百員四折の一ト折とへらるなり

一ッ二ッ四ッ八ットハ　表〻註意にようて百分にいろ〻いろ〻数なり

訓に四ツ有りの八音なれども四ツ有り　百千万のごとし　初音
名所　國名　在名等或ハ　官名　苗字　人の名などに呼ぶ
名所ハあるゝ水辺山類ハあるゝの躰を通ず
時々の草　木菓　句段　喰物になれハその季ハ持ながら植物
とのがるゝ魚鳥獣ハ　喰物になれハ其季ハ持ながら生ず
のがるゝ紋所或ハのあるれども季ハ持ながら躰ハのゞ
ざるなり

秋　春　二度のゆゑども春　後とゝ秋
鶏父入　春　秋　二度あれども春　後とゝ秋
雛　三月　九月　二度立れども春　後とゝも秋
峯入順　春　逆　秋　二度あれども峯入とゝ斗ハ秋
古代より初表の内嫌ひ来る物の中に古人の名の事　聖賢
公家武家或ハ歌人儒者医者町人百姓能役者職人等
の神祇釈教憑無常述懐衰傷等にあるゝさる古人の名

表の内苦〻かゝ尤在〻すべ〻同名所の事神祇釈
教慈無常述懐等にあるべき名所並國名町那等表乃
内苦かゝ旅体右同断
野々口立甫夜話云七十二候花信詩抄等之季俳諧取捨
有事也詩歌を引も同断七十二候に蝼蟈鳴八夏詩ハ鳴蛙
秋ハあれども連俳ともに春之和哥に牡丹春花信〻棟春花
らを連俳うて夏之此をもちゆゝて詩歌候を引或々

詩書等〻〻異様なる季を見出〻俳諧を錯乱すべ〻ゝ
當時の四季正月元朝より極月ハ至細々委〻此書に記置
なり不通成〻季不用
餘奥の事古来なきをいつのころよりか百員乃発
句に發句なゝて常の折ゝるべ〻句を継て表八句裏十
四句月花并会嫌等常の百員の法式少も違へ〻〻〻
百員結ひ次て續二百員或續三百員と呼也

百員に一句の物も餘與おハ又出に

但し余與うゝ二句去三句去の物ハ式に叉五句去七句

去面去折去物〻多〻三句去まそすゝ

俳諧手挑燈

○四季之部

春　大皇帝　勾芒神　蒼天　東君　韶光

夏　正

正月

大簇律　立春節　雨水中　初陽　青陽

孟春　陬月　睦月　端月　初月

いとは井月　古京月

元日　元朝　元旦　元三

雞旦　改旦　椒觴　聖節

屠蘇　年始　年頭　改年

南年　新正　三朝　三始

三元　復新　新春　千代の春

君の春　千代の春　四方の春　花の春

春の春　けさの春　けさの春　年月の春

日の始　春の春　春の春　春の春

年の春　四方拜　氷乃樣　年神

朝拜　朝賀　奏賀　奏端　群臣　天子東西南北ヘ拜し給ふと云　井開　腹赤贄　祇園削掛　年神

天子の御前に伺候する　天子の御前に伺候する　天子の御前に伺候する　天子の御前に伺候する　天子の御前に伺候する　天子の御前に伺候する　天子の御前に伺候する　天子の御前に伺候する

屠蘇　天子へ奏し給ふ法酒も給ふ　氷乃樣　元旦おのおのとまゐらせ給ふ時ハ氷を奏し給ふ時ハ凶事と云　井開　井開　元旦の天子汲ませ給ふと云　祇園削掛　元旦

國栖笛　和歌吉野の古民音聲不絶笛と奏し給ふ尾の有笛と云　年棚　年神

宮前の神事

福鍋
押鮎
恵方
楪
かんと祝
穂長
太箸
恵方棚
注連飾
初鶏
俵子
大服
田作り
裏白
掛鯛
年男
歯朶
初霞
ひし肴
鏡餅
開豆
福藁
庭竈
数の子
歯固
初空
喰積
初暦

暦開
御慶
門松
雑煮
蓬莱
福寿草
宝船
書初
万歳
福引
初夢

謡初　宝引　若餅　大黒舞
舞初　毬打　節煎　ゑびら色
彈初　ゆりゝ　水飴　猿まわし
松囃　水祝　春駒　船乗初
吹初　たこ揚弓　たこ板
蔵開　鳥追　松の内　船玉祭
店卸　初賣　初買　湯殿初

春永　歳旦開　節振舞　羽子　懸想文　馬乗初　初芝居　鏡開　六日年越　七種　若菜摘　とそき摘　白馬節會　踏歌

二の子ゝ初狂言のようりめく

初芝居　の表のようとゝ

馬乗初　飛る初ト云

懸想文　糸ゝて初表ゆいゝ結ぶと封て書ゝ事中

三ケ日

鏡開　四日

六日年越　若菜摘　ゑぐ摘む

七種　佛座　俗田平子　鼎　俗母子草　繁蔞　菘　俗水菜　蘿蔔　俗大根

白馬節會　七日の秋樂殿へ白馬を引出し陰陽陽陽和合を祝ひ仍白を書と唱るなり

踏歌　男ゝ十吾　女ゝ十六日　あしれゝ　ゝ

加佐――の縁 踏歌と舞小歌と法そ花とそ[illegible]
[illegible] 小松引 子ハ小 の方角四条
[illegible]命手[illegible]の中[illegible]の説義

初寅の日 鞠る事 [illegible]

初子の日 子の日

初卯の日 位書事

箕面の冨突 七日

十日恵びす 大宮

女王禄を落ふ 八日

女叙位 同上

卯杖 初の卯の日 柳木六尺三寸切 梯中へ書る

常陸帯の神事 [illegible]

縣召 除目 [illegible]

御連歌 十一日

武具鏡開 十一日

左義長 十五日

爆竹 かさう焼 十日

綱引 十四日

牒閉 十一日

土龍打 十一日 樹木の呪

御薪 十一日 面皮 [illegible]

[illegible]女の[illegible]を打[illegible]

男と[illegible]

[illegible]

粥占 十五日

御忌 十六日 [illegible]

上元日 十六日

小豆粥祝 同上

三保衆 同上

賭弓 十八日弓場殿 天子弓と時[illegible]

[illegible]

やぶ入 廿日俗に数入[illegible]

骨正月 廿日 [illegible]

六餅 同上　厄神祭 十九日 八幡、祭礼にして藤氏の家の礼とのしるしとて踊りあり

吉田清稜 十九日 初天神 廿五日 初不動 廿八日 繪踊 西宮の切文字と

縁にして踊手拭に書う西月十六日ようこう月すくく踊まんろく

遊行札切 西月十六日一遍の札渡一回ホ切一日の間ホ板と

押仕廻 西月廿日押こう札数ゆく　闘広 中ゆり

一遍中宮ゆり不見ゆくあうと云　十六日 盛の宮入ては七月十六日

梅 こうの花 素つき茅 秀穂茅 白ひ茅 赤ひ茅 柳 毛柳 風入茅

咲こう 偏旨梅 充梅梅 やうり梅 紅梅 さこ柳 柳餐 川柳 こう柳

やこう柳 黒柳 柳綾 鶯 金元寺 金よこ寺 きるこ寺

茅の穂 茅こうゆえ 鄭公結ひ文 茅の穂 茅花 花穂 ふもも未結ひても茅

霞 八重こうひ

かけこの穂

霞こう 横こうひこ霞の網 霞の紐 霞の流 こうま素

すこうりのむ　雪解 雪きこうゆきこる

若草 初茅 牧茅 むこ茅 こ落こうる茅

山吹 ひくこの茅ま茅ゆと 切さこる茅ゆり

春鷹 白尾 継尾 朝鷹 泊り山

遊糸 陽炎 野馬 糸抜ふ こけこふ

佐保姫 茅の色と深茅 伊非神紙 姫とこうも茅 百千鳥

松の花 ゆこうこうこうこう茅 松こうり 初こうり

ゆこうこる茅 茅こうれ茅 しつく

ゆきけの茅 ゆきこ汁

苔 茅のり わこうり ちこのり

こうこのり はこうこのり ひよのり

青を蹈 茅茅茅乗の 蹈切こる茅と云む

稚こうこ 海の猫の稚こうこ 稚よ 茅こうけこ

風光 陽光の茅こる茅

吹 吹こうこ

角ぐむ芦　玉江咲ぬの水鳥轉。　罌粟の若葉。
蓮の根堀。　鳴鳥狩。　茅かくはし。　蕗の薹
猫恋ひる。　猫の妻戀。　野大根。　木の芽
ふぬるむ。　田をすく。　若和布。　黒烏芋。
寒かへり。　雜菜摘　三ツ葉芹。　根白草芹く
嫁ゞ萩　魚氷に登　獺魚を祭　麗
長閑。　水和。　鳥轉。　蒲萄。

暖。　遅日。　氷解。　鶯鳥。
独活。　鱒。　凍解　春雨。
雲雀。　防風。　鰆。　河鹿
畑打。　鶴鴫。　土筆。　蜆。
餘寒　剣贈。　種物。　茅花。
柳。　畑返。　烏芋。　海雲。
蛙。　暮寒。　野老
児花。　芹。

鹿尾菜　鶯菜　蕨　青饅

蕓　干鱈　酢蛤　草萠

膏雨　白魚　東風　今年

春のあらぬ　春もしらぬ　春の風　春麻呂

けしとしらぬ　椿　古代はむ椿とせられ鶯

二月

夾鐘　律　驚蟄節　春分中　仲春　陽中

如月　令月　衣更着　梅見月

小草生月　初花月

中和節　朔日　吉野の餅くさ　同上　春日祭　上申

水間祭　初午　行基祭　二日　遺教經　九日　常樂會　十五日

柱炬火　十五日　比良八講　八日　祇園八講　同上　淺間祭　廿日

北野御忌　廿五日　道明寺祭　望　踊念佛　時宗　釈奠　二月上丁日　八月上丁日

文宣王　顔子　亟　九哲モ飾ル

井戸あらひの日　初午　二月堂の行　朔日ヨリ十五日マテ　初午　稲荷祭

らくらふ 赤張木を伐所る
傍くやりかるる多り
古改変
こそ沼

献生子（ケンセイシ） 朔日奉こて生きさ戒かの
ゆ数の稚とく入遊くこと

列見（ケミ）十一日 公卿 弁 少納言
外記・名と寄まなさ

社日 春分前後
後の戊日

式日藝来る社翁雨
社日の面かり

治聾酒（ヂロウシュ） 社日に汲と飲て
耳の聾と治る

新嘗（ニヒナメ）の能 七日より
十二日まで

芸能 素人能 物まね 猿楽 田楽 舞 歌 笛 鼓 琴 琵琶 箏 笙 篳篥 横笛 和琴 和歌 連歌 詩 文 碁 将棋 弓 相撲 蹴鞠 鞠 投壺 囲碁 双六 賽 貝合 絵合 歌合 管弦 舞楽 猿楽 田楽 踏歌 白拍子 今様 朗詠 謡 舞 踊 琴 笛 鼓 琴 琵琶 箏 笙 篳篥 横笛 和琴 和歌 連歌 詩 文 碁 将棋 弓 相撲 蹴鞠 鞠 投壺 囲碁 双六 賽 貝合 絵合 歌合 管弦 舞楽 猿楽 田楽 踏歌 白拍子 今様 朗詠 謡 舞 踊

檀 檀の木 檀の木 檀の木

かやの花　かやうの花　ちちまつの花　いふ
菊の花　蕣の花　餅花煎　角落鹿
五加木　藍ほく　鳥の巣　あハびまの実
麻すく　松むしり草　銀杏の花　二日灸
大根の花　八重櫻　彼岸櫻　菜の花
虻　初櫻　花と結　かつ〳〵虫
若紫　蜷　馬刀　蒲公　狗脊

椹　孕鹿　田螺
枸杞　接木　野蒜　絲
胡葱　野蒜　接穂　雀の子
韮　蒸鰈　引鶴　引鴨
そろこ　鳳巾　ちとわ〳〵

三月

姑洗律　清明節　穀雨中　季春　中和
花飛　竹秋　窮月　禊月　弥生

いやちひ　樣月

上巳 三日 桃旦 重三 元巳 上除 桃の節句 雛 大裏雛 紙雛 御ひな

うゝ酒・菱餅・曲水社宴 三日 巴字盞 羽觴飛 川上より盞を

蓋のち。他終てそれを流す 沙干 俗吉・かち・ちぎ・ちぎ・ちぎ

寒食 二月の三日 雞合 闘鶏

寒食 二月の三日 粥・麦の粥。

須ノ木の枝 上同 源氏 已の日の後 上の巳日川辺にて 疫神除の祓

やぶ入 ひも 経供養 二日 天王寺 高雄法華會 十日

善道忌 十四 壬生祭 十四日より 壬生の仏 廿五日まで 壬生の猿

嵯峨大念佛 十五日 千本念佛 寺中のそれ

御身拭 十九日 さゝの葉迄汗をぬぐうと云 拭と云は牙籤赤捕檀

人麿忌 十八日 御影供 廿一日 高雄の女詣 廿一日

吉野社會式 十日 浅草祭 十八日 三社 江戸浅草

梅若詣 十五日 江戸 順の峯入 逆の峯入 秋一年二度

峯入は秋一年二度 初と春と後峯入年 後峯

峯入は逆の事 南時ふ多的 阿蘭陀 ざらんだ 入港する

鞦韆 フラコ、ユサバリ 鞦韆 フラコ

[illegible]

花盛 正月より五月迄の花の盛り

櫻 ちる樣 一重樣 八重樣 濃さくら 山さくら 糸樣 いせはらゝ
緋さくら 淡さくら 淡黄樣 濃樣 八丈樣 江戸さくら
[illegible] 白さくら 手ゝと樣 てまり樣 [illegible] 赤れ樣
[illegible] 姫樣 [illegible] 岩さくら [illegible] 八重 糸さくら [illegible] 太山府君
[illegible] 虎の尾 [illegible] 菜 かく〳〵菜
[illegible] 樣 [illegible] 樣 [illegible] 樣 [

葉櫻　桃の花　竹の秋　林檎乃花
葉柳　李れ花　小手毬　杏子の花
辛夷　木蓮花　丁子草　楊梅の花
長春　九輪草　母子草　通草の花
犬櫻　金錢花　茗荷竹　藤枋の花
東菊　金鳳花　仙臺萩　春蘭の花
春菊　櫨の花　小梅の花　木瓜の花

馬藺　若菰　五形　小米花
櫻鯛　上り簗　柳葉魚　櫻うぐひ
櫻貝　鷹の巣　郭公巣　鳶の巣
柳鯢　呼子鳥　雲ふ入る　引蛙
小鮎　櫻魚　炉塞　火燵塞
八十八夜　ひとりれ雲　雲の名残　行くゝし衣
山吹衣　三月尽　雲の名残　雲の名残

暑にあらず　暑の限　暑海き　暑に帰る

暑の湊　ゆく暑　暑れ名残　暑さて

暑と揚　夏とき　夏を待　夏と隣

夏　炎帝　祝融　神昊天　朱明　蒸砂

蹲踞

四月

仲呂　立夏　節　小満　中　正陽　孟夏

余月　乾月　初夏　首夏　卯月

如花月　花名残月　鎮月

更衣　百白重　如月の衣　暑に成り　袷　綿ぬき　初日

より黒袋　神事　八日事中　八日　袷　綿ぬき　初日

孟夏旬　一日　天子より群臣に扇を　筑摩祭　一日

各扇の花洋　より

紹　紹　紹

紹

紹

地主祭 円上清水　和歌祭 円上紀及　八瀬祭 辰日　戒壇堂開帳 八日 崩

蟻巣祭 中将姫忌日　水屋能 三日四日五日 南良春日　千團子 十六日三井寺 鬼子母神詣　當麻法事 十五日

神祭 摂津住吉　花供 廿日高野大師の

土塔會 奈良寺　松前渡 松前　三枝祭 南川寺

郭公 時鳥　鷹塒入 鷹屋敷

蝙蝠 蝙蝠　蚊 蚊やり火　蚊やりの故

蠶 蠶　蛍 蛍

蒭 蒭　菖蒲 菖蒲

葵 二葵　花王 花王

石の下 石の下

青麥 青麥　短夜 短夜

青東風 青東風　新茶 新茶

和清の天　麦酒 麦酒

卯の花 卯の花　杜若 杜若

橘 橘　牡丹 牡丹

芍藥 芍藥　夏木立 夏木立

鮓 鮓　鮎 鮎

大矢數 大矢數

玉巻葛
罌粟の花
橘の実
桐の花
茶の花
風車
ぢぐま

玉巻芭蕉
綿種蒔
ぬりくり干
ゐもりのあひ
うたわ茶
わうちもく
苣の薹

古茶
花柚
薔薇
岩藤
一八
鳥尾
踊花

蘭の花
鴨足草
苔の花
柿の花
手毬花
ひくゝ草
竹の子

岩梨の花
赤の絲
蓮若葉
蓮のたね
蚊帳
たくさんげ
橙の花

黄楊の花
石蔵の花
根穀の花
厚朴の花
桜櫚の花
柑子の花
金柑の花

若楓
薮椿
蓼
蕗
紫蘇
櫞柑の花
雲州橘の花

筆
すゝのこ
きゝのこ
利根草
紙帳
九年母の花

常磐木の落葉。松杉檜等也　若葉の花　蠅。
蝿虎。　蚯蚓　鹿の角袋　蚕。
蜘子　子又　擁剱れ子。　蛭。
飛蟻。　枝の蛭。　あまり鰭。　初鰹
鯉釣。　蟹醤　ちわ烏賊　蚰蜒。
鳩鳩。　鷸鳥　青鷺　一夏籠夏ホ夏書
夏行　夏紅
夏花　百日行　安居夏行と

皐月　早苗月　鶉月　橘月

菖旦五日　端午艾虎蒲人赤靈疫神を除唐の例なり　幟立小幡紙のなり
甲節　甲人形　ちまきふ刀　ちまきふ粽　ちまきふ許壱
あやめ湯　あやめの輿　あやめ冠刀　あやめ引　ちまきふ陽　菖の節供　あやめ冠　あやめ刀　あやめ引　あやめ扎
ちまきふ弧　よもぎふく　棟の佩　棟ふく　粽　こもちまき　さくらもち　まき
芋粥
角粥　粉團射五日許小豆を入て討中て食　藥日五日
藥玉茱の玉　さつき玉　條達　藥草摘競駈百艸摘
長命縷　續命縷　粉絲

百草と戦いろいろの草と合
引物出るとひとつ
の日といふなり

騎射 五日右近の馬場にて
左近のとのまつりひ 賀茂の
祭の日

水馬 五日馬を水と
あらそひ事

鬼車 同 祭の
逆と事ひ

印地打

賀茂の競馬 五日くくに
きそひくらべやぶさめ

生玉流鏑馬 五日

住吉御田植 廿八日

山田御田植 同上

伊勢山川祭 八日 当宮にて
三年三百年三年

有無の日 廿五日 式日終日
作業

祇園御輿洗 晦日夕

帷子 袷帷子

百夏至 五月の中く

半夏生 夏至

入梅 梅の雨

五月雨 さつきやみ

青梅 梅つけ 梅ぼし

虎う涙雨 廿六日

鵜川 鵜舟 鵜縄 鵜飼つる

羽めつけ 弦巻を
うめりく

黒鴨 鴨 かもの子
ことし鴨

蟬舌と去 蟬の舌のごとく
去れば蟬なしとい

十一日月
なり

寂勝講 清涼殿
にて行ル

花 菖蒲 菖蒲 非正花

百合。蓮の葉　源氏物語　かのこゆり

田植　苗くもり　おひ女

早瓜　あさがほ　白あり　千かう

鉄線草。うこぎ　きらりのくさ

末摘花　紅の　むこ

蝸牛。かたつむり　てんぐり

照射　火串　さんとも　ちひろそ　春の夕　ちくしょうん

麥刈　麥搗　麥切　麥ワ〳〵

露葵　益子。ほいちこ　茅いちこ　地いちこ

紫陽草。四ゐ〳〵の

忘草花　萱草也

金銀花　冬

真菰刈　むらの

撐　ぜんくんの

菖蒲　水き　根

蜀牛。かたつむり

獣狩　ちしの義とふ

躾狩　くれて　春と　春と

入梅　松　播磨姫路御城門に赤松あり入梅に入梅ひらく　又ひらかずとも　花なり

蒼木燒　源とをらふ

石菖。

夏菊。

枇杷。

若竹

天蓼。

藻の花。

藻と刈

藻刈舟

薄の花。

菱の花

榧の木燒　ほとゝぎす

天南星。

早松茸

早初茸

生胡桃。

青山椒。

南天の花。

ひさしの花

さくらの花

下葉の花。

むかしの柳

茄子
刈葱
根芋
苕草
青田
胡瓜
蘭

栗の花
茨の花
椨の花
はぜの
田菖蒲
稗蒔
粗蒔

桑の實
花菖蒲
朝露草
青小豆
粟蒔
莅蒔
玉簪

八月はぜ
花柘榴
和布を刈
きさらげ
馬齒草
胡麻蒔
そらまめ

梔花
簗打
鮎
藜
蒐
蠻

蚊帳艸
水鰍
水馬
蟷螂生
水鳥の巣
蓴

合歡の花
水鱧干鱧
水雞
蛇衣脱
鴨の浮巣
鳧の羹

あらめ刈
干鰕
蕎麥を入
蜉の初雪
蛆
毛むし

黒きく
白きく 沖の赤けまきくりんだ 白くくりんだ

六月

林鐘律　小暑節　大暑中　季夏　瓜期

旦月　遯月　水無月　風待月

鳴神月　常夏月　陽氷

賜氷節一日　氷の貢　氷室氷室の男　氷餅祝　冨士詣一日ヨリ廿日マテ　ふゝ　垢離　円　精進

一夜酒　麻地酒　醴　粉酒　前日につくり翌日供ス

六月會四日　天台宗　祇園會七日　清社ようり宮本ゑ地の清旅所ゑ神輿をかゝ〜まるるうり志ゐ〜の神宮十四日　いろ〜の山屋巻ひ〜る　祭時のゑ十五日にあり

御躰の御ト十日　祇園社の人　玉神に清ひ〜

津島祭十四日　舟ゑ飾りて挑灯ゐ〜〜〜

[illegible]

川社 夏祓 門毫を祓をとるなり 祓をとるなり

菅貫 祓之具也 茅の輪 ちがやなり

鎮火祭 此日卜部氏の行ひ 火難除の事なり

形代 門祓つとめの紙を作り門に

[illegible]

[illegible]

夏神樂 [illegible]

雷鳴の陳 雷あるとき変なのれを大祓の下通来の次第

三伏 夏至の後第三の庚の日を初伏とす第四の庚を中伏とす

涼月深し 寒深しと云ふ

京四条の涼 七日より 門の内小家とも [illegible]

座頭涼 十九日

紅の涼 十九日 此日マテ

江戸両國橋の涼 [illegible]

嘉定錢 十六日 [illegible]

[illegible]

[illegible] 浮 [illegible] 馬 抱竜

扇 五明 [illegible] 雉尾扇 扇車 扇引

[illegible]

泉 泉殿 滝殿 水閣 泉風

土用干 虫干 虫拂

汗 汗をぬぐひ あせ拭ひ

團 [illegible]

清水 [illegible]

井 井戸浚 井戸[illegible]

麻 麻引 青苧 夏引糸 新苧 [illegible] 麻

楮の花 紙をすき [illegible] 紙に [illegible]

瓜 [illegible] 瓜 [illegible] 瓜

夕顔 干ひやうたん

蓮 荷葉 水芙蓉 荷ハ葉ニ 白蓮 ハ蓮ノ華

藕ハ根ニ 紅蓮 ハ蓮ノ花

撫子の花 石竹 ことなつのむかし 撫子ハ川原ノ花

蓮の実も夏ニ

実飛ハ秋ニ

百日紅 すべり

海松 うみまつ

荒和布 あらめ

射干 からすあふぎ

蟬 せみ 蟬のなき声

稲 ひばり 老を

夏虫 蛍 ほたる 蛍ハ夏虫ニ

蠶 ひるまく 虫

蟬 ひぐらし

神鳴 雷 初雷ハ春

六月ハ四月ハ八月ニ

夕立 白雨 ゆうだち

青瓢簞 ひさご 百生 千生 ひさご

蒜根 やまのゆ 根も実も食ス

南瓜 なんきん 花も実も食ス

江戸初鰹 六月十五日ヨリ 鰹ハ初夏ノ物

夜鰹賣

せゴし 鱠 大ハ三ノ魚ニ 魚ハ四ツ

沖鱠 沖ノ

陸ヲ海ノ中ニ 魚ノ

目鯛 その外 ノ

上州新絹 六月中旬

石尊垢離 石尊ノ

石尊祭 六月廿八日 相模大山不動 奥の院 石尊大権現

あつき日

綿の花

醤油造

葛の花

納豆造

極暑

炎天

溽暑

雲の峰

むしくい物

菱の花　醤造　日盛　麻頭巾
藺を刈　奈良漬　日傘　麻羽織
菅を刈　竹の皮拔　温風　振舞水
藍を刈　昼顔の花　風薫　水引粉
白麻刈　麒麟草　藿乱　香薷散
蒲の穂　ほうづき茶　葛水　砂糖水
青蕃椒　梅の尾花　水飯　洗ひ飯

夏枯草　茗荷の子　洗鱸　海月取
干飯　道明寺水　洗鯉　金龜虫
青鬼灯　鳥黐搗　煮冷　雲雀鷹
鷹羽ほうたるかや　杏　驚草
林檎　杏子　河ゝね　李
赤草　澤瀉　風蘭　凌霄
蚋　早桃　楊梅　眼皮

鯖釣　夏の別
夏過て　秋を隣
秋を待

秋　少皞帝　蓐收神　爽頼　旻天　白藏
金商

七月

庚則律　立秋　節處暑中　孟秋　桐秋
初秋　首秋　明景　桐月　文月

蘭月　女郎花月

七夕　七日御節會　硯洗　机洗　七度喰　星の手向　詩哥連能七夕會
二ツ星　彦星　とり〳〵妻　犬飼星　牽牛　織女　女七夕　男七夕　星の契
あまの川　銀河　銀浪　銀漢　銀の川　星合の濱
かさゝぎの橋　雁の橋　鵲の橋
乞巧奠　庭の立琴
七種の船　茅花　蓍の船　女房船　船
紀象の橋　妻迎船
乞巧針　七孔の針　糸　萩　乞巧奠

七箇の池 七宝のれに星を移し

飛鳥井家七夕の鞠

池坊七夕の立花

荷前の使 天子より諸陵へ勅使立つ

文殊會 八日

清水千日詣 十日

盂蘭盆 盆供

諸寺施餓鬼 一日より十五日まで

梶葉 七夕の家内葉に書き向ふ

御門跡簑花 供物あり

摂待 門に茅をもいかり沈香の人を多まふ

逆の峰入 本山七月 當山八月

聖霊祭迎鐘 同上

六道参 九日

槇買 六尺系の尺より測り灸撥に絡

焔魔参 十六日

盆市 聖霊蓙 聖霊竹

芋殻 土器 手向物

根芋 枝豆 青さゝげ いがくり 青柿 青梨 青桃 蔓尾草

粟穂 稗穂 稲穂 瓜の馬 茄子の牛 みそらめん 箸 青榧

燈籠 きりこ かげころろ 花ころろ ほころろ

送り火 鹿ヶ谷ハ大文字 愛宕ハ鳥井 松ヶ岡ハ妙法 舟岡ハ舟形

十五日条宿者ハ女人禁ふ制教

燈籠踊 長谷

夏書納

題目踊 松ヶ崎

中元 七月十五日

盆の法入 伊勢山田ゝ所ゝ乃家ゝ花とゝ茅とゝ

扇置 ゝ盆ゝ迎ル扇

生身霊 父母おゝゝ蓮の飯 刺結ゝ

三井寺女詣 七月

經木流

新綿の奏 十六日
貢物

小結 参角力 行司 ち儀入

踊 小町おどり いせおどり

相撲 ひぐすまふ 関元 関取

かけおどり きりおどり 書改 酒こく

一手 葉 相の葉ふるり 一葉 葉

松坂おどり

萩 おぎのうへ 彩猪のおぎ

ちれおぎ しくもの

のはぎ おしなべて 萩 萩八一名つゝにて 桔梗 ちくさ

萩こと本まとり 高枝と生して 花咲

のとなりふるなり 友ひとのしれ 萩と云

一株に百本つく有 萩と云

あること本にすると 文城 ちにのり

槿花 八一日の栄なり

蕣 八二時の栄なり

蕣 牽牛花 朝貌花

槿花 けのもれ

とゝ花 とんぐわし 女郎花

犯くこにし 男良花 形ごとのもの

藥師草 ものの草

益母草 めはき 草

仙翁花 紅梅

桔梗 ひのひあふき

蘭 あらか

翁草 菊ノ

蓮の実飛 蓮の実と

ほんぢ草 ちひく草

ちひく草

蓼 ちくとう 草と云

秋ふあ

ら民

虫 ちくとう 草と云

ねば秋ふ

ら民

蛍 蟋蟀 はれさも

ちくさ

ちくさ

蟲 いなご

蟷螂 いなり

蟷螂 いなり

秋の螢 草に秋と

ひとび秋

秋の胡蝶　てふ蝶と結ひてもあり
松虫　くまつむし
虫撰　虫合　虫籠
鳥屋出の鷹　鷹ゐるの山別　初雁の時　鷹ゐるとあり
鷂吹　ひばくくくんくくくと合　鷂の鳴まねとあり
早稲
初て味
ひやくく
秋津虫　こんぐう　やんま　赤とんぐう　蜻蛉とんぐう
秋風　俳諧　初風
露　ちくく秀　ちくく秀　多秀　夕秀　油の秀
新涼
餞暑
冷麦
初る麦
木瓜の実
桃の実
黄瓜
茅の花
畏麻
ちくく
あつ麦
鉈豆
犬子艸
芭蕉
あつ引茅
焼米
垣豆
常山の花
くく紀の虫
小車花
茗荷の花
樹金の花
やいやむ
すみ茅
西瓜
番椒
柳散
桐
楸
蟬
花火　正花

桐花。　絲瓜。　鶯音草。　茶調虫。

夕貞別當虫。　紫菖。

八月

南呂律　白露節　秋分中　仲秋　壯月

桂月　竹春　壯月　葉月　鴈来月

秋風月　月見月

八朔　繪行器　絲雀　當日祭中之式有　田面祝　田実祝

天中節　朔日　秋社　秋分近き戌の日なり　五穀の神を祭る　堺天神祭　二日　四日

北野祭　四日　白髭開帳　五日　八幡祭　十五日　岩清水　放生會　十五日　十六日

夜なべ　八幡　阿野津八幡祭　十五日　伊勢　豊浦八幡祭　同上　長門

鶴岡八幡祭

宇佐八幡祭　同　豊前

箱崎八幡祭　同　筑前

志賀八幡祭　同

深川八幡祭　同　江戸

板鼻八幡祭　同　上州

司召　十一日　京官の六位以上をとなへて　業爵とゝのふと云

菅大臣祭

放活杖乃祭　いのくまの南楯逢の社にて　人を生、死、罪の囚　罪人の死罪の　刑法をとなへ　刑とおこなふ　その死罪の

名月 十五夜 三五夜 名高き月 芋名月 部に悉し 新月 西院祭 北日

良夜 名月の月 此外月異名

駒牽 駒迎 月の駒 きりの駒 繋がれ駒

甲斐の駒牽 十七日 武蔵の駒牽 廿七日

龍田姫 秋の色に染出す神 造化の神 非神祇

秋の宮 中宮の

いかとつぶせる 鶴鴿ノ云

後の彼岸 既究ル

小鷹 小鷹狩 鷹は巣ゐる

鷹網

小鷹

雀鉄

黄鷹

児鶏

青鷹

ひとり鷹

ひとつ鷹 鷹打 鷹打 鷹とりの

鷹 鷹の食かりうを 鷹とりの

鷹とり 鷹とり 鷹とり

巴鳥 巴鳥 巴鳥 巴鳥 巴鳥 巴鳥

鶉 鶉の鳴く 鶉

鵐 鵐の鳴く 鵐

小鳥渡 小鳥渡 小鳥渡

鹿 鹿 鹿

鮭 鮭 鮭

小鮎 小鮎 小鮎

澁鮎落鮎　下簗くつれ簗　うるぢ簗

薄　赤のすき糸もくき

蔦　つるの紅葉

薄紅葉　蓼の錦　葛　くすのむ　蓼の紅葉

ちくさ　紫苑

月草　露草　青花　花紫　たんくむ

藍の花　あいの花

鴈来紅　兼雞頭

茴香の實　うんれのみ

蒲萄　宇治花園　草花也　非正花

うるぢ瓜　玉つさ　錦文字

こうぢ　沢桔梗

稲乳　いねかしらの小稲と穂さき　乳のこくなるとき

穂　いねのこくなるとき

稲　いねのこくなるとき

稲刈　稲こく　稲干　穂積　いねむしろ　いねの家

八束穂　稲こく

新米　米

秋の田　田とる　田の毛付　田の毛見　田の庵　拾見　田平刈

二百十日　立春より二百十日目

東宮子　東国にて稲をうる

案山子　かかし　引板　たなぐ　ちまき

木綿取　のこぎ

芋　いもがら　いもの茎

牛房引

暮薯堀　ねうご

菜種蒔　大こんくさ　かぶ　ちしゃ　けしたね

粟刈

種瓢簞　牡丹の八分根　稗刈　種夕顔
茅の色付　櫻刈　種南瓜　ちらしやくしゃ引
芽萱　種茄子　くらくら引　藥堀
鳳仙花　曼陀羅華　茜堀　雞頭花
百部桂　鶉草　金剛草　蕎麥の花
野菊　白夜草　ゆうすのはな　鬼灯
鵜上ヲ　木犀の花　綾紅　若萆若

うれの実　通草　木芙蓉　蕎
ゆうやけ　冬瓜　大豆引　小角豆引
三七花　江鮭　かどうの唄　太刀の魚
竹の春　初汐（八月の大汐）　野分（八月吹大風）　法師蟬
花壇（草花ニ非ス花）　砧（衣打　きぬうち　ころもうち　ころうち　ぬのうち　紅葉）　太刀の魚
無射（律）　寒露（節）　霜降（中）　季秋　玄鳥
季商　紅桐　菊天　素秋　舞射

晩秋　涼秋　玄月　末秋

菊月　陰月　桃秋　あゝの月　稲こき月

りんだう月　木深月　木末の秋　小田刈月

重陽の宴　九日　重九　菊日　菊節句　菊酒　重陽　栗日　栗節句

菊酒　菊重衣　紅葉衣　紅葉の上器　落帽　ひさご酒　菊瓶　菜黄袋

九日小袖

後の雛　ひとりのひな　ひとめひな

見袋　見袋の初穂

目録に見袋と紅葉と　ゆかりの物

不堪田の奏　十日　見八幡宮田の抜穂の奏

桂宮相撲　八日

泉涌寺舎利會　八日

醍醐祭　九日　能ゝり

御香宮祭　九日　伏見

鞍馬祭　九日

貴布祢祭　九日

生玉祭　九日　大坂

四宮祭　九日　大津

下鳥羽祭　十日

剣幣　十一日

白川祭　十一日

岩倉祭　十五日　北山

栗田口祭　十一日

一ノ宮祭　十五日　河内

岡崎祭　十六日　東山

木幡祭　十五日

鹿谷祭　十四日

逆髪祭　十四日

北山祭　十六日

鳴瀧祭　十八日

津村祭　十七日　津国

天王寺一条會　十四日

太秦祭　十日

小倉祭　十五日

八幡花の頭　十日　つゝり花ゝ

天満鏑流馬　十五日　大坂

呉服祭 十七日 あやとり糸 津国 波利祭 高辻室町
十八日 うれそめ祭 池田 有馬 桂川乃百姿
那そそ文乃別迹

度會新嘗會 九月十六日 十七日 礼幣使 勅使立替 夜分也

伊勢御遷宮 十六日 廿一年目 御社立替 十七日 礼幣使 勅使立

日蓮御難ゝ餅 十三日

神田明神祭 十五日 江戸

住吉の市 十三日 升の市 たなりの市 ともも六

住吉社相撲 同上

後の月 十三夜 二夜月 豆名月 栗名月 月の初に あり 月のあるうち

菊 菊合 目精更生 濡鷺

こがら菊 酔楊妃 羊歓 回峯 女郎 周盈 まり菊 金目貫 白菊
黄菊 紅菊 袋菊 ととめ花 大般若 弟艸 翁艸 砂金 毬菊
ちきり菊
猩々菊

残る菊

十日の菊 残菊の宴

残菊八十日の菊なりを十日菊と兼和年中ようとるくそそんしく
又をうひ菊くいかう飛り菊にあ
をうひ六蘭遠くしたりまうりあ
枝まはなを偽て名我菊といつのう
紅葉の花 ちるうし菊 色ちるこうても秋
名をとむまひても秋

承和菊 黄菊

紅葉 色見艸 紅葉の船

楓 書紫云ても秋

名木散 蕊紫こよを むすひても秋

柾 まさきの くるし

いてう 銀杏

柚 ゆず ゆうこう ゆべしゆこう

柿 かき おもし 柹 こ柹 串柹 木はけ はけう 柹 柹 柹

御所柳　又不材ともいふ　俗こうはちなどいふ　和州巨勢こゝにあり

栗　ちうそこう　ちうそこう　けうこう

椎　高野　義高野

菌　そくひら松茸　椎こけ　板こけ

平茸　初茸　柳こけ　まつたけ　苔こけ　紅こけ　たけうり

ト治　いとこ　苔皮こけ

黄蜀葵の花　紙を造る

漆取　うるしかきとる

芦の穂　ひのの

思ひ草　ぎんこう

忘草　ぎんこう

野山の錦　紅葉もみぢ山　黄頷頷の林

錦繡の林　深き野山

桔梗の花　ちゝ草むしのなき秋

野山の色

草花枯　もろもろ草

木の実　こらん枯

梅紅葉

榉の紅葉　雀蛤成

柹の實　もう一ぬ松

椋の實　橡の實

椿の實　果李實

柳紅葉　漆紅葉

菩提子　南天の實

たもれ実　榎の實

蜜柑　櫻紅葉

金柑　久年母

柑子　佛手柑

柹根　ぬるその紅葉

荔枝　せんこんの実

仙蓼　皂角の實

松子　老母草

うづき。　柘榴　苑豆。　桐油の實
むよん　胡桃　漸寒。　露時雨。
ぬんとく。　露霜。　露寒。　柿寒。
霜蹈鹿　夜寒。　冷ど　長夜
新蕎麥　紅葉鮒　うれ　れ　れ
葉薑　檀　櫟　櫟
狼獸と祭　榧　柿　萸

尾越の鳴　熊栗九棚搗　何首烏
葛葛王　薩摩芋　木蘭子　梅嫌
蔓梅嫌　晩稻　稻田穂　小瀑江鮒　界の浦首
新酒　中汲　古酒　蒲萄酒　食
番船　番綿　と二方船と新保船の物語とつゝて江戸人入津と
いとゝき一番船二番船と船況爭船
茶々　輿祭　茶屋に於洛中所〻まつりのちやうこんちやうこしくらべ
住吉九神送　廿日　九月尽　暮秋

秋ふかく　くれの秋　秋より後　行秋

秋果る　秋の名残　秋おしむ　冬と隣

冬　顓頊帝　玄冥神　律檀　上天　元英

羽音

十月

應鐘律　立冬節　小雪中　孟冬　折木

初冬　玄帝　秦正　上冬　始氷

方冬　新冬　小春　亥冬　早冬

かんなづき　玄陽の月　しもつき

初冬月

神無月　田舞所尊社ゆゑ　陽方の月　冬籠月

神集　神の旅　神送一日　神の留主

大社の神事中亥出雲　神立風冬の大風

宇津田の神　冬と守

玄猪の餅　初の亥の日　第八子と孝子孫あつまる

進爐炭 屋の式し 燒糟喰 同上 拜墳 同上

興福寺法華會 六日 東福寺開山忌 十六日

法勝寺大乘會 廿八日 金毘羅祭 十一日

達磨忌 五日 十夜の念佛 日より十夜まで浄土宗

維摩忌 十日 日蓮御影講 十三日 法花宗 御取越 一向宗 祖師

親鸞上人の忌日 十一月廿八日本願寺にて大法要を勤る

恵美酒講 廿日法華宗 恵美須の縣賣買 茶の口切

爐開 巨燵切 炭 炭竈 炭燒 賣炭 點炭 助炭 炭取 炭俵 白炭 輪炭

池田炭 熊野炭 櫻炭 小野炭 冬籠 炭火 懷炉 たんや

桐火桶 櫛 田舍にて大きなる木の根と

ぬやこにあり 綿 ぬのこ 袷 ひとへ

袋 袋すり 紙ふすま 袋の袋 頭巾 くるみ帽 すこつき帽 あけ帽

月代 柳 蒲團 綿入羽織

鏡 萩 紙衣 紙子羽織

初氷
寒菊
鴨鷹
鰤
鰒
飯花
蕪引

蔓かづら
菊うら
落このる
菜のも
冬牡丹
かつらもえ咲と
大根引

綿子
足袋
石蕗
山茶花
八手の花
菜ゆる
納豆汁

綿わた
ちりめん
革羽織
冬木の櫻
枇杷の花
水漬

蕁のこの葉
枯野
川音の霰
霜
落葉
初雪
水鳥
千鳥
あちむら

おがら
木枯 冬の風
冬の落葉も冬
月の雪 雪柱
雪消 雪の花
液雨入液 立冬の後十日めく
鴨 立鴨 水菊 ほたて たこ
鶯 鶯の食 思羽
の香

生海鼠・きんこ　このわた

網代・めろか　氷魚・ひをの魚

夜興引

妙音講　諸国座頭仲間寄合宴列を平一弁天妙音幷の尊像とうけ種々供物を備へ順番に平家かたりとかくり通夜すること

十月

黄鐘律　大雪節　冬至中　周正　朔易

霜晨　氷壮　星紀　畧知　芸生

霄水　仲冬　盛冬　冬半　陽復

子月　鴨月　復月　霜月　天正月

霜降月　雪見月

朔旦冬至　十月朔日冬至なれば十年の名

一陽佳節　十月無陽の月なれ共冬至より一陽来復　曆の奏　宮線と添

糸と糸を合せ日の出糧と牛　履と献　唐土にて姫より始て履と奉る　相嘗祭　上の卯　大和

住吉　大神　宍師　鴨　息智　意富　葛城　新嘗祭　中の卯　今年

日前　右の神主宦幣を請取行ふ祭なり　豊明の節會　中辰　今年の新米　神へ

の初穂を　天子より　神へ奉らせ給ふ　殿上の淵酔　中丑

奉り　天子も召れ臣

臣へ賜たまふ

長臺の試 五節の舞と御覽とをなす

童女御覽 卯日清涼殿童女を召れ御覽

鎮魂祭 離魂をなすなり

空也忌 十三日 鉢叩 俗聲なし 法衣と云

大師講 廿四日

報恩講 一向宗祖師親鸞上人の忌日十一月廿八日なり本願寺にて廿二日より廿八日まで七日の間大法事あり

芝居顔見世 朔日 見揃

髪置 十五日

袴着 同上

雪 六ツの年 雪の中 かくれ雪 雪の中 雪の中

雪こし ゆきこしの雪 雪仏 雪ころび 雪の仏 雪の女 雪の仏

雪車 雪の上を雪車

橋 雪香

綱貫 同上

雪垣 雪竿

雪と水とを合せ雪の上にかくして見るなり 雪の中にかくれたるものいまだあらず

雪 雪のあられ

雪吹 雪吹 氷 氷 雪の中に水 水面凍

氷柱 銀竹

寒苦鳥 羽冷 雪中に鳥の羽を入れて見れば羽ばたくなり

ほくろ ほくろ雪 ゆき雪とくるまで

鯨 鯨船 一の鯨の二の鯨 鯨の舌を

杜夫魚 杜夫魚 鯨の日

玉子酒

湯豆腐

茶粥

みそ湯 みそ汁

煎煮凝

こんにゃく

蒟蒻氷

風呂吹大根

水仙 金盞
銀臺

雪の下

鮒

胼

冬至梅

胡蘿蔔引

凍

皸

太山櫨

蕪引

法師ゆかり

鷹

葱 ひとり
ぬかふら

石苔

ちかい家

鷹

羽ちがひ 鷹の羽ちがひの鷹を羽ちがひと云

屋形尾 鷹の尾の

ぬくぬく 鷹の毛を抜かせ
らしてはこにあげり

鳥柴 鷹の餌

鷹 仁德天皇の御宇百濟国より
鷹と献ず 大皇御狩の時

里神樂 禁中の外は神樂は
皆里かぐらなり

神樂哥 祈祷ひの
唄なり

憂左毛 鷹の牧場
尻のこまう毛

ぬくぬくとあたたかなる小鷹
その鷹の毛をぬくなり 終日ゆるがず
ゆるぐ事のなく或は竹の
枝などにとまるを
始て雉とらせるを是に仍て
鷹の鳥とは雉子をいふなり

燎 たくしの庭火

かゝ神楽ふ　早哥　採物哥　大前張　小前張　星

十月八日　新玉津島御火焼　十月十二日　御火焼

三島酉の市　十月中酉　宇賀祭　卯日　山神祭　同上

日吉臨時　中酉　賀茂臨時祭　下ノ酉　北祭

東三條御神樂　下ノ卯　大原野祭　中ノ子　宗像祭　上卯

山科祭　上巳　平野祭　上申　春日祭　上申　松本祭　中卯

當麻祭　中卯　卒川祭　上酉　梅宮祭　上卯　當宗祭　上卯

中山祭　上卯　松尾祭　同上　吉田祭　中申　日吉祭　同上

園韓神樂　中丑　大寒　中　殷正　季冬

十二月

大呂　律　小寒節　大寒　中　殷正　季冬

杪冬　師走　臘月　除月　極月

弟月　残冬　三冬月　梅初月　春待月

乙子　朔日　川浸餅　朔日　臘八　八日

温糟粥　臘八かゆ

事始　関東八八日　上方八十三日

御髪上　下子日　天子の五ぐしを奉る　着駄の政

天智天皇御國忌　三日

佛名　十九日より廿一日まで

かけ帯　天子より仏名の手作り給ふ

師走　法華経仏名とき　きらん手作り給ふ

牛童子の像を立　大寒の日禁中四方の門に陰陽師ら立つ也

大徳寺開山忌　廿二日

寒曝　寒造酒　寒地蔵　寒念佛

餅花　黄鮒　餅搗　箕和田鯉

早咲梅　庭鳥つくし　鶯巣ふ　早梅

臘梅　探梅　早咲椿

室咲椿　室咲梅　孟宗竹

寒竹子　年忘

櫛粟乃飯盃　酒の肴の酒と　摩耶山へ参る

駒勝寺観頂　十五日

歳暮市　年取物買　煤掃

古札納　星佛賣　年木樵　節季候

寶船賣　正月の飾物賣　蓬萊

暦売　来たらうみ

節分　立春の前日　除夜　上同　弓矢羽子板賣買

内侍所の御神楽　節分之夜　吉田の大祓　節分

柊指　鰯頭指　厄おとし　豆打

厄ちらし

大原雜候寮　貴分の家大原ことに男女きくらいはやはらるる事なり

追儺　鬼やらひの声

衣配　貴分神を　小晦日　大晦日の夜　大晦魂祭　大晦日の夜先人祖乃

七月盂蘭盆　岡見　大晦日の夜蓋とさらに加に蓋て言花西に光り

齋宮の繪馬　大晦日の夜　門松をいとなむ

和布刈之神事　長門国なるやこも大明神　毎年大晦日の夜寅の刻に至りて漫々たる大

海岸に社有

海うしろ四方、ひろん屏風を立てしごとく海底平々たり神主たいまつ

奉れば、かくるるく海の面汐みちて　海底の和布を刈取神前へ備へ

ものごとく荒海となるなり

雜之詞

二季と爭句ハ雜也　花紅葉　寒暑ト結句

飛花落葉　ト續ル句　又四時不斷ゆく物ハ雜也

松竹の落葉　米　麥　豆　松の綠等

無名の虫鳴ハ　小鳥　鷺ハ秋　柊花ハ冬　桂実ハ秋　村雨

葎茂ル夏　萩花夏　藻花夏　虹初春　蓬生　榊　蛤

淺茅原　芦角組春穗ハ秋若葉夏枯ハ冬　菅　真蒋　早稲

豕雲　清水結ハ夏　梅干　蓑虫鳴ハ秋　梅漬　玉虫

梟　鷺　山鳥　都鳥　鮒　鯖　鰯　鹽物

鳥入巣同　鷹の巣　野鷹　離鷹　離鶫　鴨の羽盛

梅壺　梨壺　桐壺　藤壺　鴨沓　舞扇　礼扇

鴆栗　軍配團扇　戸の鳴子　蚊同巣　鼠　布

布曝

右大槩記之余準可知而已

追加

池上千部　長栄山本門寺　毎年三月十九日より廿八日マテ

九品佛千部　武州世田ヶ谷領奥村　九品山浄真寺　毎年四月三日より十三日マテ

海苔日待　毎年二月の内二日ありて此時ハ川井内ハ海苔ハ出ると云ふ

○天象　月日星天うつりを二句去　二句はうつりをも捨

天　大圓　天と　碧落　同　虚空　同　半天　月　異名月の部

日　金烏　陽烏　火輪　霊耀　晨光　斜陽　赤栄　星　北斗　北辰　大白星　流星　南斗　斗柄　昴頭星　参星　柴垣

七曜　二十八宿　牽牛　織女　異名七夕の所に委しく出す　各星に分也　日蝕　月蝕　天川

銀河　銀浪　七夕の時ハ水辺にあらハ秋　又名所の時水辺に成雑七夕　ふりぬハ　河内国に天川と云名所あり　銀河　七夕ハ面

と無ふ外の天象　ハ二句去

○聳物　ふるうりをに二句去二句うつ　一句あるとも捨

雲　霞　虹　運氣　蜃氣樓　電　非夜雑　稲妻　夜分秋

遊糸　陽炎　糸遊　月の暈　富士の烟　淺間の煙

松竹柳草木雨等の烟　霧ハ聳物降物両用也

○降物（ふりもの）（ふるゝに二句去二句一句ともに捨）

雨　雪　霜　時雨　吹雪　露　霙　雹　霧

白雨　雪もよし　紀

○神祇（三句去三句捨一句ともに捨）

伊勢太神宮（日本六十余州神々御名）　宮　社壇　遷宮　三寸

長官　社頭　社　祭礼　洗米　御師　拜殿

祝言　祠　散米　神主　瑞垣　斗帳　御供

榊　祝宜　玉垣　神託　初穂　社人　稜

千木　湯立　神輿　乙女　鰹木　幣　氏神

神馬　神子　鳥居　鎮守　贄　繪馬　襖

巫　尊（天子ノ祖）　小忌衣　神樂（太々神樂花ゝのゝ）　命（臣下祖）

木綿襷　御手洗水　膳（神供也）　七五三　鵜羽葺

齊院（賀茂）　齊（潔斎）　忌竹指　矢大臣

神宿（天林一巻）　川稜（御稜川　菅原　形代　茅の輪　わゝふこの稜）　門首（休むるとゝふ）

神樂（大前張 小前張 星詞 阿知女 採物哥 里神樂）　起請（誓紙 神文）

かぐら〜〜（丹後〜有）　かぐら〜〜（神々鋪也）　伊勢講（太々講 參宮）

非神祇

惠方　年德　男山　放生川　龍宮　橋姫

山姫　精進　佐保姫　龍田姫

○釋教（三句去三句はく一句ゑも捨）

諸佛の名　諸菩薩の名　佛祖の名　諸佛經の名

諸僧法衣　諸の官名　諸宗佛具　羅漢の名

諸山号院号　寺　門跡　僧正　念佛　舍利

精舍　堂　上人　題目　數珠　伽藍　和尚

塔　和讃　袈裟　庫裏　長老　談義　經

木魚　方丈　僧都　法問　五鈷　衣　眠藏

能化　論義　獨鈷　客殿　箇　所化　灌頂

帽子　輪蔵　出家　鉦　觀念　燕尾　行堂

主座　座禅　厨　頭陀　宿坊　沙門　悟道
袈裟　僧　入定　沙弥　禁足　素絹　五戒
坊　衆徒　禅定　天蓋　破戒　護摩　尼
血脉　坐具　持戒　生飯　花曼　頓寫　諷誦
諷経　花足　看経　五輪　鉢盂　常香　杜杖
引導　塔婆　順礼　線香　錫杖　彼岸　石塔
鉢開　抹香　回向　卵塔　因果　六道　地獄

功徳　非時　斎　流轉　遍雲　彩迎　極楽
曼陀羅　作麼生　結跏趺座　補陀落　須弥座
三界六道　薦僧　梵論　虚無僧　是ハ終ニ百去　百万遍　弥陀念佛

非釈教

煩悩　坊主落等の釈の詞　衣ハ　釈ハ　鐘　書記
碩学　醫者の釈名　諸職人の釈名　法印　法橋
○両部　仏徒ハ釈者ハ二句ニ一句ハ捨ル

帝釈天　辯才天　多聞天　持國天　増長天
聖天　大黒天　毘沙門天　摩利支天
如此天と呼くる神　山伏　蘇氏條来　兜巾　條掛
此外も両部　金剛杖　檜笠　檜杖　梓神子
立願　通夜　雨皮形箱　月待　日待　庚申待
仏ゆるく法ゆるくゆる句　両部之

○戀之詞

戀　夫　妹許　吝気　玉章　惚　婦　詞

女房　二夕道　妹脊　娘　情　嫌　薄情　形象
姿鏡　仇　嫁　契　内儀　二夕心　紅脂　嫁
恨　妻　腰元　門立　口紅　妬　妾　兄
花嫁　難面　爪紅　孕　占女　花賀　待宵
白粉　誓　文　詭　入智　袖引　化粧　思
縁　忍　密夫　伊達　新枕　傳　帔　鬱
傾城　心中　長枕　幃　禿　戯　遊女　神祈

手枕　恥　咽　戯女　下焦　枕香　嫩
白人　千話　枕繪　踊子　出合宿　口説
振袖　野郎　口舌　流し目　色狂　袖留
陰間　口吸　ぬるくれ　水揚　飛子　頬摺
指櫛　尻目つかい　舞子　水祝　離別　金剛
忘らるゝ　物怪　亡八　辻占　懐妊　執わき
妓有　灰占　惡阻　花車　坊主落　私語

若衆　牽頭　鮮訃　目元の塩　念者　辻君
立ッ名　前髪　前つくり　惣嫁　睦言　妼娜
憂慕　近ゆくさう　夜這　指切　腕突　入癡
身と焦　揚屋　髪切　股突　密通　若後家
後添　湯女　白拍子　結ふの神　女衒
千束の文　諸國傾城町の名　人目の關
人目忍ぶ　手を出めるる　目くそ　尻注めるる

子をおもふ　仇くらべ　下紐解　身うつしかみ

寐乱髪　垣間見　近かやうり

錦木　二尺ばかりの木をたてゝおさなき女の門ゝ立ることゝいふ　細布　くさの細布　後朝　あのかゝる

たまくしげあひらくさき　縫帯　女のはしをとゝくる時むすぶ帯なり

玉くしげ　空炷　衣くし　ねの別れを云　衾分く

虫の卵　いもりの血をとりて女の紙にぬれば不貞女ハ忘れぬ

非恋詞

髪　所縁　輿様　御櫛　三縁　鏡　枕　乙女

中居　歎　宿執　夢　帯　半嬢　乳母　泪

千詠　偽　後家　下女　御宮　天乙女

早乙女　瞽女　市女　賤女　学の文　旅の文

佛日月星を祈る句　禅

右のかゝる非といへども句ふかく哀に旅へ

○無常之詞　并哀傷　二句を一句にまとめ捨て釈る二句を

鳥辺野　化野　剱の山　三途川　魂結び
灰人　灰寄　葬頭河原　白骨　髑髏　冥途
龕　極楽　中陰　忌中　喪忌　幽霊　久魂
追善　追悼

○述懐之詞　二句を一句ともも捨ル

寡　白髪　三輪組　ものもの　貪　浪人
眉の霜　侘　病人　苦　継子　苔衣　乞食

世を捨

非述懐詞

愚　賤　山賤　座頭　瞽女　紫戸　嗣　翁
草庵　釣翁　賣炭翁

○人倫之詞　二句を三句ほくく　一句にても捨ル

祖父　父　兄　姉　我　息子　娘　嫗　祖母
母　弟　妹　妻　子　孫　女房　伯父　嫡

舅　夫　親　彦　獨　従弟　伯母　姪　姑

聟　聖賢の名　實名　俗名　僧法師の名

傾城白拍子野郎の名　法介準ゝ云べし

非人倫之詞

帝　皇女　本院　新院　仙洞　太子　宮

親王　門跡　大君　仙人　人間　一門　凡夫

眷屬　二人　三人　大勢　雑兵　衆生　典薬

外科　本道　老若　鍼醫　入道　百性　旦那

敵　かゝる　俗　不仁　聾　思同志　代官

目代　民　目付　留主居　奉行　身　某　私

地頭　門主　橋守　門守　花守　山姫　寒山

拾得　僧坊の官名　釈祖師の名　俗官名

苗字　守の字　師　医師　佛師　繪師　鑄物師　是等也

者　功者　使者　医者　佛者　鍛師

文者　筆者　儒者　勘者　是等也

此数一人ずつ書べし　也名に色ひ

呼まる故に分ハ何も非人傷　右の

和歌多あるものの異なり

○居所之詞

家　屋　宿　菴　軒　書院　廊下　寮　園
亭　樓　庇　椽　小屋　博風　爐　壁　窓
床　礎　塀　鴨居　鴨居　棟　簀　閾　闔
梁　隣　天井　座敷　閨　玄関　部屋

余は准しるべし

居所用　和歌に打載せる

村　里　筑山　坪の内　泉水　路次　畳　戸
外面　井戸　井筒　脊戸　簾　障子　鉤簾
翠簾　暖簾　土蔵　欄干　町　但居のうの他町なり居所にはあらず
庭　居不なるべし　和に見る
柱　古書に非居所とするも居所に用ゐる
杖柱　橋柱　なほ居所にあらず

余も准しるべし

非居所詞

内裡　皇居　御所　神社　佛閣

すべて非居所　千里　邊土　市場　車場　鞠場　等也

○山類之詞　一句ニ三句ニもくくる

山　峯　嶽　峠　峰　谷　峠　高根　坂

尾上へ　九折　山姥　山姫　瀧　山ノ口ノ関　逢坂　足柄　白川

葛城　久米の橋　岩けた

山類用　本山類に入れ難し　略ス

岡　嶋　崎　泊瀬　水邊ニアル関

吉野　島國　瀧川　杣人　淡路嶋　三島

越路　仙人　山賤　瀧津川　氷室　山鳩

山鳥　山桃　龍田川　山梨　蓬ヶ杣

非山類詞

余ハ准し考べし

○衣服之詞　一句ニ二句ニくくる　一句ニ三句ニもくくる

裳　小袖　衣裳　繻絆　白無垢　被　袷
袖　袂　帷子　紙子　襟　褄　裾　布子
單物　袖口　浴衣　衣紋　産着　羽織　褊
洗ひ不新ものの為皆衣彩色
非衣類詞
袞龍　直垂　狩衣　素襖　襠　袴　袍
大口袴　襴　小忌衣　白弦　緋袴　縊袴

綴　宿直衣　祝　淨衣　袈裟　衲衣　蓑　帶
直衣　上下　肩衣　絆　切　水旱　葛袴　水衣
十德　篠掛　直綴　居士衣　立付　襟巻
掲布　帽子　袈初　野袴　紙羽　脚絆　股引
頭巾　足袋　三尺手拭　法被　褊　綴　裘
道服　羽衣　裙袴　褌　襠　纈帶　藤衣喪服也
祠　素韡喪服也　右宦服　祭服　僧衣　喪服　礼服

生茂利せるる地皆非衣類

○水邊之詞 一白云之白はなくも拔ル

海浦 濱川 江 池 澤 堤 流木 渕
淀 渚 沖 磯 汀 瀬 洲 浮木 淵 崎
津 浪 泡 潮 汐 沼 杜若 瀧 島 橋
筏 樋 筧 流 溝 井戸 海士 漁火
蛇籠 水屑 濱萩 海草 須磨 明石 松島

菖蒲 貝類 鉤具 魚の名 水鳥の名
漁の名 船の道具 辛崎の一ツ松 蓮 草 藻

非水邊詞

天の浮橋 夢の浮橋 白川の關 月の出汐
室の八島 難波寺 泪の淵 軒の玉水
鵲の橋 布曝 志賀の松 なるみ川 二瀬川
憂の海 蓮の上 約契 硯水 天水 岩船

氷柱　筥屋　干魚　干貝　苗代　田圃

○夜分之詞

月　星　曙　霄　暗　箒　蚊　鼠　寐言
寐　枕　鼠　炬　塒　晩　銀河　明星　日待
七夕　横雲　稲妻　龍灯　鵜川　行燈　砧雑
覗狩　寐鳥　燈籠　挑灯　燭灯　紙燭　燭臺
蠟燭　短檠　手燭　假寐　居眠　夜着　燈明

送火　衣々　深更　化物　幽灵　夜発　辻君
夜多嫁　蚊帳　草の枕　衛士の焼火
星とこたふ　眦入　住吉社市　星月夜名所
夜分の時洩　追儺　除夜　大晦日とも
洩夜分詞
鐘　泊　電　礎　虫の聲　三日月出　芦火
今日の月　朝の月　明たるなれ　常燈　昼の月

暮の月　夢現　夢幻　夕月夜　有明入　残月

余ハこれ〻准〻去べし〻

○食類之詞

喰物ト飲物ト品替りて二句去二句ぢく一句とも接

○旅躰之詞各〻一句とも接

門出　餞別　乗掛　輕尻　蒲團張　駄賃

水賃　跡附　水陳　旅籠屋　出女　駄荷

泊女　宿取　川留

○生類之詞

虫ト虫　鳥ト鳥　獣ト獣　同生類二句去二句ぢく一句とも接

虫ト鳥　獣ト虫　鳥ト獣　獣ト獣　ふくりたハ二句去ぢく

○植物之詞

木ト木　草ト草　同〻一句とも去

木ト草　竹ト木　ふくりたハ二句去いづれも二句ハぢく

不高不低植物 木ゝも草ゝも竹ゝも二句共に二句八字ゝ

藤 萩 槿 茨 茘 葡萄 葡萄 牡丹

枸杞 山吹 卯花 五加木

○書躰之詞 二句共に二句共に

文字の尊 書籍 文臺 繪草紙 筆 硯

墨 頓寫 夏書 手習 朱引 帝書 狀

手紙 文 玉章

○火躰之詞 二句共に二句共に

炮 煤 灯 爐 巨燵 火鉢 炭 竈 等也

余八准〳〵 ゝゝべ〳〵

○風躰之詞 二句共に二句共に

風鈴 扇 團 吹 芦の声 [illegible]

余も准〳〵 ゝゝべ〳〵

○病躰之詞 二句共に二句共に

藥灸鍼入湯按摩醫者等也

余ハ准シ考フベシ

○器財ニ器材有テモ用ヒ有テモ用ヒ

武具ニ武具　家具ニ家具　鐵物ニ鐵物　硯ニ墨　文臺

武具ハ弊ニ百去　武具ニ筆　棋盤　庖丁

○支躰ニ支躰ハ有テモ用ヒ有テモ用ヒ

顔ニ能ハ鼻ハ耳ハ

顔ニ手足腹背

○名所ニ名所ハ有テモ用ヒ有テモ用ヒ

同レ國同レ所　須磨ニ敷写

伊勢ニ陸奥

○字去之部　同字の事也

色ト云ニ色ト云ニ三句去　色上云ニ色上云ニ二句去

如此訓音かりそめ皆二句去

(イ)今幾山入
(ロ)ハ抱膝晴果張
(ト)時啼遠問其
解鳥(チ)路通ヲ
思落帰折(リ)我
(ヌ)哉鳴風替通
(ル)夜夕立為絶
(ヲ)遣着付就
(ワ)袖外其初添
(カ)外程(ヨ)邊經
(タ)吉
(レ)止留
(ソ)置追多音取小俺
(ツ)忘分渡曹飯
(ネ)掛方兼

(子)音
(ナ)中鳴鳴鵬波鉦
(ラ)双
(ム)虫無
(ウ)内上髮識
(ク)吳雲草
(マ)待又迄
(ヤ)野
(ケ)遣撲山止
(フ)振吹深
(コ)心比声木
(エ)成猶
(テ)打浦
(ア)来廻間○頓
(サ)小込事
(キ)餘當
(ユ)有明淺蹄逢合秋
(メ)先去指下小更
(ミ)里
(シ)樣

(キ)木際聞切消来(ユ)行(ミ)各道
水身見皆(シ)下新鋪(ヒ)小人
引(モ)本物持(ス)住末捨過濟

○同字別唫

御酒御田鶴田丈夫大志賀賀仙臺臺
代官代関白関南無無防風防傘傘
一二一二度度半夜筑紫紫輕重重

代物月代由来由来行撫子花撫子春日春日
戰戰中風中中人の目秤の目今日
一町目天目如此の形

○付字之事

家ト家ト八拍と略しいとも家土産家樽家の子
月字といふとも家の字ニ当る朝朝日山星星比目
神神子呼呼子鳥乾乾鮭雲雲見草

蘭蘭香待　雞卵ニ雞頭花　紅紅ニ黒ニ黒黒奴

此ハ[illegible]も文字の出[illegible]
[illegible]別吟ふかしば

○賦物之事

祖師貞徳法門[illegible]中ニ[illegible]ハ織物の事ニ連歌[illegible]
[illegible]事ニ[illegible]ニ[illegible]
[illegible]花の[illegible]ハ花俳諧
之連歌[illegible]月俳諧之連歌[illegible]

[illegible]の[illegible]ハ織物
[illegible]べしと正保三年丙戌三月十五日於花咲[illegible]
[illegible]世ニ[illegible]事[illegible]ハ[illegible]
面白[illegible]花[illegible]蘂[illegible]時
[illegible]文字[illegible]蘂[illegible]
何四[illegible]ハ　花皿　壺皿ト[illegible]
梅何ト[illegible]べしハ梅蘂[illegible]訓言[illegible]

ものすり　蛸何ト云ヘシトハ墻蟇ト書ひ[illegible]通ス

何上ニ置時ハ　上賦ト云ハ　下ニ何置時ハ　下賦ト云ハ

一字露顕ハ　香ヲ蚊ト取ル　二字反音ハ　蓑ヲ蚤ト取ル

三字反音ハ　砧ヲ狸ト取ル　三字中略ハ　狐ヲ杵ト取ル

除扁　添扁　借音　等ハ文字取也

余ハ古書ニ委シ〻ニ云ヘハ略ス

○月の部

月　秋也　百貫ニヒツ　但シ両ニツ宛也　月ト月　五句去

月次の月九字　三句去　音ニテハ二句去　月ニ日ニ星ニ五ツ続ク

月ニ添生　きたらしき　月次の月　六句去　添生　夜更ル　月次の月ニ変月　月ニ未ニ云ル

月ニ作花　ふ跡　月代ロに新ニ白去

月ニ夜の字結ふ句　折を去く　憑神釈名所ニ結ふ句　石ヲ新

月ニ姨捨又更科ト付ベシ　月ニ捨ハ月ハ月ニ捨ハ

月ニ同道具付ベシ　月ニ対て月ハ雲ニ対て月ハ

春の月　一　春の白月　一　春の有明　一　春季一

以上四也折去夏冬同断

仏一化の事なり　一春秋共

心の月　胸の月　月次の月　真如の月　月草

寺号　山号　付字　三ツモ　髪の月　秋

たとへハ法生教十月新酒の月　星月夜　星の光りなり

明るくすれハ月なり

月の雪霜氷秋也　月ひかりとつ　月の氷秋

仏一名新にてなり

月ゆゑにして八冬　月冴ハ冬　月冴　月さゆる　楚新

月夜分但月ゆゑ秋　月夜分

非夜分

月明果　月待　月を祈　非憑　月待　両部

月の入　脚也　此類皆　非夜

月讀神　月讀社　月にあそぶ　秋夜分　夏の夜霜　月三成　夏非摩

月の新の白なるを

月と見なすべし

○花之部

花四也折二ツ宛　花の字　三句去　初花　待花

花盛　花見　花見ごと　花房　花笠　花曇
花守　花敷庭　花鳥　花車　花桶　花瓶
花の素　花生　花軍　花入　花園　花の笑
花の山　花の宴　花の盛　花の姿　花の宿
花の皮　花と皮　花の匂　花と蜜　花結ひ
花の殼　花の実　花に蜜　花の面　花の蕊
花の粉　花粉　蕊花　花の唇

書紫の花　掛の花　花の藥　花の蕚　非聲
花の涙　非水　花の雪　非降　花の風情　花の雪
花鎮　神祇也　花筐　釈也　花籠　同上　花生の時
年の花　花の素　歳且也　正花也　花扇　非釈
花傘　花傘にすると也
花の都　花浴　中花　花聲　意ゝ　花嫁　同上　花心
襃美の花

花鞭　花鰹　糸花　花の鼻　花衣　作花

紙花　花栄　花のつぎ　花の縁　花乃袖

花の袂　花真壺　紋の花　繪の花　詞の花

花の姿　染物の花　織物の花　花もち　傳の義ハ歌又俳のもじり

以上植物に二句の花と云ハ皆春ハ西花ハ

花 四 正花也　櫻 四 の時ハ非正花　花蓮

織ものハ植物に二句也　花神樂　花の香に　袖の香

花の句ハ　袖の香ハ　大句也　花の散る　神樂の音ハ　夏の花ハ　冬の花ハ　冬の花ハ

花の姿ハ非風雅　花の姿ハ風雅

花に付句同道具不付ハ　花に付句同道具不付ハ

花に吉野付句　花に櫻　七句也　櫻の花　櫻の花

付ル　花ハ　櫻ハ　花ハ　櫻ハ

花の月　結句　折句　詠歌　名所　結句　月の

花の月　結句　一句　花の花　百貫　一句　花の花　百貫　一句

まへ〳〵歌員ようの表の内八をべうべ　花の宮生　おくろひすの宮ゝ看

他の季乃花

夏の正花　餘花　若葉の花　郭公結句

秋の正花八　花火　かゝりと花

冬の正花八　飯花　花足袋　餅花

雜の正花八　花紅葉　飛花落葉ト結ス

余八句略するようのうかゞゝ有べし

非正花分

花の宮　本名縹帽子也　わさくらゝ　花田第　同上　法しゝ花　法しゝ帷

花丁子　湯の花　花野　花壇　同上　糸の花

火花　灯乃花　丁子乃花　柔の花　端ゝ針

浪の花　雪乃花　深色の色　藍の色　玉紙　眞紙

玉乃加乙　馬の鼻　花ゝの狂ゝ　花町の親一士

花園院　花頂山　花川戸　如此氏　苗字　人名　宮名　所名　いろは　非正花

花王牡丹　花の富貴同上　花の隠逸蘇

花の兄梅　花の君子蓮　花の宰相若菜

六ッの花雪　鶯なる花海棠　もくしゃ花夕貌

三ッの花霜　末摘花紅花　花うめく真菰

四もりの花紫陽草　花ごろも紅の売歌の異名

いろは歌余歌集

いとゝ　いとゝ　いとゝ　

[illegible]

[illegible]

[illegible]

おひろく一只者の　一条西殿
おりてゞゼ一うりあく　良二使二面去
おどろく一おそろしく
おほよそ者一かくまと
おそくあぶく一禁ふ井のもの
ひろくハやく一おそろの
ひとすま道茶一莨茶と

おとのすま面一きこのこと
ちりとこ一わふのく
のうもく一表年んもる　仲ちく
ひしろう一ちのやこ
ちくちのう
ちの物一俗こうきうら
しかんく
ひとの者一我の人と
ぬく
ぬかるく一俗愛うまく
面茶一七

うこ白去　うトう二白　我う濃ゞ面　かくしく一　ゆしきく
かきくれ時一軽去白　かいまくん一濃ゝう　姫二白去
かくう濃く一相花鬱　とく　ぬくく
かくもかく一屋ゝ濃ゝ衣裾の
きこ茶ゝ面
かりあう一編曙　かりして一濃ゝと　かきのとく　仲ふのく
ますう一たゝう　役面去　ゆ石一下人の　仕下　ゆ去
ゆみぢ一めとの　ゆくく　ゆこと　とう姫去　山一濃ゝの
ゆんの　おとく一天ゝの　山茶ゝく　たどゝ茶一ゝ　ゆどく　ゆ去　面きく
ゆう

玉虫の屏一そくのうち　迷イ二百文　蒔絵入り　素められ
迷んめん　云掛　法華経三百四十　連俳
そと云て不足二百文　そと三百文　そのうえ二もの
そと云掛　三十四十六十不足　そうぐ赤二巻一対
そのあろき二尺袋の附　赤茶か　そうり一落ちかし
法しし七百文　蒔絵入り　法華経三百　法れさせ一きりん
法華経の図一ぜくそりめ　法華経三巻　袋文　老二百文

法しのふてる文　蒔絵入り八二
法華経千の句三上の句法華経　蒔絵
孫ろろ　根口し　風神　孫七郎人一後人の
なんん七百文　蒔絵入り　なれ
蒔絵ひろ一　中ふふふ　蒔絵
蒔づくく　二なんむつま　赤　赤
成の中く　赤ひで　赤
同しなハ二百文　うれバ

らん　二百去　第ノ八　南去　らゝらめ　四段

らゝらん　らめ　二百去　らゝ　七百去　第ノ八　折　らん花　二百去

らゝ　上　うくす　きとゝす　らう　平　いとゝす　とゝす

ひべ　さもうゝ　かゝト　去　ひくつ　ひき　勝る　きゝ

ひさゝび　絶とゝす　ひやゝく　の　園　乗れたる　たゝく　悪とゝす

うらゝ　云　同　二　うらゝ　勝　必　おゝ　蒲　ふ　西

うかいて　男　女十三　きとゝす　うかい　松　ゆ　松と　ゆ

うゝかゝ　一　絶　しのゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　心　二百去

うけゝ　一　ゝ　ゝ　呪詛　御伏　二　折　去　ゝ　ゝ　ゝ　慈　二　折　去

うゝ　ゝ　ゝ　ゝ　

やしろぢ七首去第八　形やしろの日影

やよと云て示す二それてしらの新　やまとあやめの池一説に菖蒲池

やまとうたの表さく一書のたのりき　清二首来第九　形名

すくる紙一まきまきて　果二首去　手枕結ぶき一恋しらの時　置くあやめ

清らうと二首人の　清水二首第十　清水

すくりく　大和の巻面去　きのふまでうらの清水くまのの清水

すすぎすくまきて一すまの松の　夢のうきの　表りしまの去　表りしまの

きり二首去第十八面　きりの日影　春ちさく一春の花見

けぞ一のふ一春の助詞　見助詞ト也　けぬめぐ一うやまう

きれなく一心なき　心二首　心二首

下紅の紅二首去　花ふけ面ふれおく

ふすゐの泉一桂のふ一　桂れた　泉ゐ　桂れた

ぬ一ふ一伍倍子水ぬ　ぬ一ふ也一　泉清し　泉ゐ去

ふりふけ見る一見侍しふる　振提ト也　泉一泉一水　泉清し

こそ　二句去　夢ハ雨去　こんや　一縁恵　高源寺打去

名くはしび　一ハ名茶　名人　一梅　嫁姑のこと

く夢ハ　二句去　下の句て遠近一　ちゝト云雨　一こゝろ　ほとゝぎす

わ〳〵ト　ハ雨　二あ〳〵　嫁　わ〳〵　あ〳〵　雨　一雨　悲　一　あ〳〵　嫁　まく

あ〳〵　ハ雨　一　あるかこと　あるかはまく　あとゝ　一　多　長ごこん　枕ことゝ

あるゝ　ハ雨　一　あ〳〵　ハ雨　あ〳〵　一　ハ長　長　長　長　長　長　長　長　長

きこん　ハ雨　夢ハ　ハ雨去　さゝ　ハ雨　二句去　夢ハ　ハ雨去

さハ　ハ雨　二句去　夢ハ　ハ雨去　こゝ　二句去

され　云雨　書これ　松これ　木　ほゝ　ら　一ざんこん　かんこん　ざね　ハ雨去

出ゝ　ゝ　一ゝ

さゝ　ゝ　ゝ　遠雨去　一切　前生ト去　さ　ゝ　一　漁人の

き　二句去　ゝ　ゝ　ゝ

めとりそとふた　二句　第ハ　ハ去
めくりと　去詞　面去　めくりて　めくりて　一流士の
めくりて　めくりて　一流士の　お義
めくりて　めくりて　一流士の　お義
めくりて　めくりて　一流士の　お義

せ〜 二百去 せうこすうこそ 二百去 せ家一支のうちとりあつまり

すこん 七百去 篇うハ形すうり月明

する 二百去 せそこそ せ〜 二百去 ず 二百去 ふのね 三種

すこそ 二百去 篇うハ形 十ぐそ 二百去 ものとも

ず〜 一家ものと秀 すこび 二百去 毫 七百去

すこあび すここあ すこ 形

一文字 七百去 別音 篇うり 五百去 単 編 獨 ま 三百去

二文字 重去 別音 篇うり 七百去 三の字 十の字

二の字ハ月 百子男 各月去 別音 篇う 百去

春 字モ 季モ 五百去 四季 各月明

意の字 四百去 非意 悪の字ハ 百去

月七 五百去 月次の月の字 三百去

花 四百去 花の字ハ 三百去 殘の花 表 海言 表 海水 表

[illegible]

[illegible]

初雪　初雪　淡雪　雪の淡雪　皆冬

歌二音　和歌の分　連歌　俳諧　風雅　雪の花　雪

時雨　霰　霜　雪　小雪　田うゑ　俳諧　小雪　金雪

俳諧の題　いせ暦　いせ海道　いせ雑　いせ物語　いせ

いせすり鉢　かゝりの歌　出ぶちに　ぶちなし　初出

東西南北　四字　初一音　初出　紅葉　紅葉　紅葉

雪の雪〳〵　七月去　雪の雪　雪の雪　雪も　雪も　雪も

出の雪〳〵　雪も　雪も　雪の武月

雪　雪　雪　

四季

[illegible]　　貞富

[illegible]　　貞逸

[illegible]　　文佐

三物

[illegible]

[illegible]

月の宮一夢づゝ[illegible]

[illegible]

[illegible]

下知 [illegible] 立て歩く　狩立て [illegible] 歩く

未來の [illegible] 歩く

二字切

おろ人 [illegible] 人風も [illegible]

三字切

「いふ [illegible] 「[illegible]」 [illegible] の中

三段切 [illegible] 名切

女常男の衣裳 [illegible]

大巴

多ふ [illegible] 富士の [illegible] 歌

を巴

書くてもの [illegible] 人きりのとこ [illegible]

玄蕃切

雲白 [illegible] 雲や [illegible] を [illegible]

紫切字 [illegible] 切 [illegible] 白 [illegible] 師 [illegible]

切字 [illegible]

[illegible] の [illegible] 歩く

ある　なる　ける

武の部

萬代のるにひかるる男 阿州 貞雨
めぬくと本意の葉さかりる中 芳雨
きてれ八扉ゑ苔も異さくる 米沢 一蘚
長崎八番ゑ永の義撃 仝
七合の日清ゑ思ふ事ゑ 仝 其山
白雲に濡ゑる波の異ゑ 藤里
去りてゑ八軍ゑも清止ゑ 其木

やの部

まひゑひや捨れゑこゑ 上州ヲ中間 掌乙牛
めぬくと本意の葉さかりる中 仝 芦遊
初雪やいとめゑ酒に酔すゑ 仝 湖遊
人の恋ゑ恋ゑ恋ゑ 仝 桐直
一雲流のゑ流れゑ 仝 其山
春雪や弁に曲ゑ 仝 烏狐遊
白雲に濡ゑる波の異ゑ 上大塚 仇珊木
去りてゑ八軍ゑ清止ゑ 八幡山 舟卜

武の部

行ゑ恋ゑ思ふ行ゑ 吏山
義ゑ撃の意ゑ 石州ツワ 芦雲
濁流ゑ戻り恋の宗行 仝 万国
友山八藩ゑ義撃ゑ 娯流
子ゑ思ふ義子ゑ 仝
信ゑ恋ゑ行の義撃ゑ 巴山
義弁の片帆恋行ゑ 可邑
の雲ゑ一寸ゑ柳ゑ 柳風

武の部

行ゑ恋ゑ思ふ行ゑ 仝
義ゑ撃の意ゑ 仝 遊
濁流ゑ戻り恋の宗行 仝 日
友山八藩ゑ義撃ゑ 仝 之
子ゑ思ふ義子ゑ 仝 雨
信ゑ恋ゑ行の義撃ゑ 五出
義弁の片帆恋行ゑ 仝
の雲ゑ一寸ゑ柳ゑ 間保呂 扇山

蔦くも二筋こすぢ柳うれ　鳥山　吉尺ばかり日陰やけしの秋　新宿　子勇

暑さ日のひいくりしぬ樹ゝ風光　横壁　松雨

人のおもとをとんぼおそく踊り掌苍　小串　文哥

目振ちふれ見ふ蓑ゝ伴水　長根　文賀

多蓑の肩もかわをに紙ゝ　小滝　松童　馬庭　閏山

昼蓮ゝ死中ゝ蓑ゝ風車　岩井　琴山

絲いとこゝろ牡丹芦角　慣うゝ女の髪や百合の花　淵柳

晩百合八分ゝ服その蓑ゝ　翠路　七夕や風ゝ元ゝ笹の葉　山井　悦山

大名の貝ゝ蓑の八月ゝ　百藏　名月や沖ゝ元ゝ海ゝ　紅芦　英

汐日ゝ一日滅ゝ海の　鮮蓮舟　郁くの橋の白ゝ　倉ゝ　上雄

一紫ゝ滅ゝ蓑ゝ柳ゝ　木上舎　秋空　橋ゝ蓑ゝ　文篁

毛蓑ゝ蓑ゝ蓑ゝ　錦秋　書ゝ蓑ゝ　秋郷

大名の蓑臭ゝ蓑の蓑ゝ　御延　熱秋の橋ゝ　花隣

日向漕蓑の蓑ゝ　泗浪　屯倉の黒ゝ　前ゝ　池鯉鮒

ゝ蓑ゝ今ゝ蓑ゝ　延山　烟ゝ　盛賀

消蓑ゝ蓑ゝ　市寶

上州七日市　釣浦
同　八幡　更科
同　九皐　芦葉
同　前橋　杉雪
同　芳賀　扇風
同　芝　松露
同　高崎　芦洲
同　小幡　魯州
同　芳賀　芳州
同　永州
同　齋州
同　東州
同　羊州

同　竹
同　心
同　月
同　花
同　月
同　芳
同　芳
同　芳

[illegible] 八幡山 臣竹
[illegible] 近山
[illegible] 今 好竹
[illegible] 遠後大ノ 里風
[illegible] 今 原月
[illegible] 石州ツノ 素兄
[illegible] 新宿ノ 芦月
[illegible] 今 喜水改 曉山
[illegible] 今 蘭思
[illegible] 今 柳糸
[illegible] 上手邑 泉志
[illegible] 江州 近山
[illegible] 遠後大ノ 里風
[illegible] 石州ツノ 素兄
[illegible] 今 芦洲
[illegible] 今 美鳥
[illegible] 上州高サキ 其國
[illegible] 秩父野ノ 主原
[illegible] 上郷 月峰

[illegible] 四間 菅竹
[illegible] 今
[illegible] 長根 桐
[illegible] 黒熊 霍昌
[illegible] 宇貫 川龍
[illegible] 今 可水
[illegible] 上小塙村 山笑
[illegible] 日野印地 芦元
[illegible] 常陸ノ 白翁
[illegible] 今
[illegible] 千代見改 芦舟
[illegible] 串崎氏 兎山
[illegible] 金谷河 友里
[illegible] 法月金 万壺
[illegible] 支之
[illegible] 石

今年もこゝ時雨降れば　野上　泰山
おくられて淋しき雪の日の楫うる　矢田　芦瞰
潮騒るかくれ蓑おもふ　吉井　松甫
一葉落て秋禁撰ひ　今　岸松
素拍て遠く人を義禁う　今　松川
空霞紅葉の日のくる蔭うれ　今　保水
階をかきて下りる雲ふる　今　初交
雲を姫離の川橋を六番ふる　今　笠雨

七膳や醫のかもめこ二月　其潮
名月や伊藤ふる北か　醫吏山
初雪や乃殺を六月　江戸　貞陸
月橋や雲ふる人の月　紅毛坊　芦玉

雲を海法採せて雲を義禁ふ　西平井　周盈
水ふる雲くれ法老ふきき柳ふ　馬庭　里川
雲禁ふて岩六義の朔ふ　岩井　淵水
枝川の声も義今ふ平ふ　塩川　笠雫
松平ふまして雲を拍ふ　今　笠川
禁雲ふて六又雲ふる傷ふ　下大家　梅里
傷こ雲ふ秋ふふる雲禁ふ　フチ岡　旦白
ふ平ふ移平ふる秋平に田ふ　今　山慰

七夕の乗れ勢や鶴ひ　里鶴
六ふれ投花の月や紅葉　衛路
おふふ月や雲ふふ雲禁　蓋柳
秋の夜やいつの月　知数　龍子
百姓の余時ふ雲ふ　禁之
禁塗ふの傷ふ柳　呪爾
夜通し雲の月や長廊下　二調
川節や園ふ雲の夜ふ　青塵

濱の雪八色ばかりそこなうる　用和
暮ごろの名ごりなつかしく　東川
淨瑠璃こゝろ　武州熊谷　芦碩
わくらゝ閑井戸焼八ゝ　友至
ずとゝ出て已る世ゝ　文至
吹ゝの花ゝ　真宿
―

文科の春ゝ八ゝ　高井　秀木
雨のうや時のゝ　紙幅　交兎
郭公の元ゝ　月面　風車
振袖ゝ　土用干　其桃
初のうゝ　蜀魏　其桃
ゝ死ゝ　庵水
蝉や人の命も雨の内　杜平
ゝに捨る世の灯や　米甫
涼ゝ　貞雨

ゝかり　平湖
夕雪ゝ　藤巴
春ゝの流波八低　一之
ゝる庭に白ゝ　竹志
松新もちゝ　宇賀　艷山
秋涼ゝ　吉井　笠雨
引ゝ　小幡　重友
ゝ秋ゝ　塚町　竹雨

ゝ那ゝ
ゝ雪ゝ　芳雪
ゝ
ゝ　吉井　定
ゝ味噌ゝ　ゝ
ゝ　高ゝ　好采
ゝうけう

[illegible] 安戸 東里

[illegible] 雖歌

[illegible] 活計堂 友之

[illegible] 長ノハラ 芦魚

[illegible]

[illegible] 二本松 湖雲

[illegible] 吉井 復児

[illegible]

[illegible] 深沢 松戸

[illegible] 舎牛

[illegible] 三宅 芦夕

[illegible]

[illegible] 桃井氏 玄蟾

[illegible] 万壷

[illegible] 二本松 扇志

[illegible] 阿州 嵐瞰

[illegible] 二本松 山稼

[illegible] 和周

[illegible] 吉井 松月

[illegible]

[illegible] 八幡山 秀竹

[illegible]

[illegible] 小幡 秋空

[illegible] 宮崎 幸成

[illegible] 米沢 谷

[illegible]

[illegible] 吉井 松石

[illegible] 小幡

[illegible]

川

[illegible] 芳柳

[illegible] 有隣

[illegible] 原翠

[illegible] 高サキ 呼雪

[illegible] 深沢 里鶴

[illegible] 吉井 笠考

[illegible] 山

[illegible] 八幡山 東手

[illegible] 山

[illegible]

[illegible] 高サキ 雪髪

[illegible] 前ハシ 壽保

[illegible] 大ムラ 芦魚

[illegible] 前ハシ 過改

[illegible] 秋父 豊東

[illegible] 高サキ 雪髪

[illegible] 黒熊 竹陵

[illegible] 来次 伐利

紙漉のまつ白なる花物しらん　竹文

[illegible]　紀擬

[illegible]の絵と貧のたつるまそれ面　里水

やとこそ[illegible]　熊谷　嵯夕

[illegible]本屋の[illegible]　山至

[illegible]　ブチ岡　貞宿

今はむかし　[illegible]

[illegible]

[illegible]人[illegible]　小幡　其明

[illegible]

[illegible]

[illegible]　貞橘

[illegible]

人のうつれる

柿の枝

[illegible]

[illegible]

[illegible]

四季

佐野
枕流亭
杜川

秋の灯乃ふ[illegible]

一樹ひ[illegible]

[illegible]

[illegible]

仝

[illegible]

仝

石[illegible]

上州岩井
良笠

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

仝

[illegible]

仝

[illegible]

仝

[illegible]

仝

[illegible]

仝

[illegible]

仝

[illegible]

惟[illegible]

[illegible]

[illegible]

〃

伊勢[illegible]七十[illegible]師 貞川 上州子間

[illegible]

〃

[illegible]

惟[illegible]

[illegible]

[illegible]

〃

[illegible] 初 [illegible] 貞堂 子間

[illegible]

[illegible]

[illegible]

〃

[illegible]

[illegible]

〃

[illegible]

[illegible]

〃

蓑の笠さゝ振袖もゆう由種順

稲ばの穂のさゝと吹きてゝ秋の

四手さゝ舟てやうの門一郎

仝

松の枝ちの手拍や蛙の芦汶 上州ゴ郎

潮さゝ紙乱てゝ拍やかんこゝ

新出の蓑さゝ入うに秋後の月 邑山

白くゝ晩さゝ蓮の花

潮さゝ紙乱てゝ拍やかんこゝ

初雪ざゝ入うに秋後の月 邑山

仝

蓮の花 上州ゴ郎

仝

南窓亭

橋小鮒さゝ如 蓮寺 山芦相

白雨や蓑舟の力新稲桂

夕日新松拍や寄こゝろ

秋山さゝ沿をて立や村手寄

仝

阿州

お蓮寺と咲不蓑さゝ蓮乙作 魚千

蓑さゝ振りかゝや寄こゝの峰

仝

蓮の花

蓮寺小鮒さゝ蓮の蓑さゝ 芦相

蓮寺小鮒さゝ蓮の蓑さゝ 芦相

秋山さゝ沿をて立や村手寄

仝

蓮の花

蓮寺小鮒さゝ蓮の蓑さゝ 芦相

蓮寺小鮒さゝ蓮の蓑さゝ 芦相

出の雪に木葉落る月影や
雲のうや惜み落さぬ一合

三物　拾花甫

春くれて雪の名残と添と紅葉や　貞里
入日の月八潮色に
霧若れ行肩こどまる漂碎

仝

彩紅の葉と星の別れ路や
紅葉ちるや星のとて一はきもの

三物　一祖堂

いつくに入さぬこちらの一住居戸　芦兆政
世分けてそれる鶴のうすぬ
秋と雲と絶雪ふる雲の

仝

故郷へ帰ると云ふ花の枝折　波光
春酒に癖ふ成て深しん
水面の月を老ふの素を常く

仝　上州八幡山

ちはれ金屋にうつる麦畑　桐船
ゆく春を毛氣紙を頼杖
秋分日を雪人に石と祈り日

仝

明られと稽と云れ酒の月　東竹
秋酒の蔭の新しく成ぬ
一鶴のうき陰に繁れ山ふ

仝　肥後八幡山

陽炎のいと微しや蔭花　松花
地のうめ二月かくむ新
春の曲に春の雨ふる夕ぐれて

仝

[illegible] 芦雁

於葱畑乳母の加いかもや

[illegible]

仝

[illegible] 仝 芦笙

体人と笠の形ふ情吟

月と花[illegible]

仝

山寺の庭くれ初てやれの月 仝 弘山

[illegible]

[illegible]

仝

二人寄て[illegible] 仝金井 桐栄

[illegible]

[illegible]

仝

[illegible] 温平 松閣

窓に[illegible]の湯桶

[illegible]

[illegible] 魚

[illegible]

[illegible]

歌僊 風志

[illegible]

[illegible]

[illegible]

哥仙

二つ三つ[illegible]味の情ふ 友里

歌冬[illegible]の[illegible] 芦管

[illegible]邪も友と[illegible]て 芦邑

そらに打ハ異風の事　有佐
津藩孫も沙汰ふりせ世の月　貞屋
筆の跡ハ　軍執筆
ウ　ア　イ
ハ　ハ　ハ　貞山
世も変ハ　芦邑
かるまてと　有佐
かるまてと　常仙
日暮れ猫ハ　貞屋

孫ハ　村の子の家　貞国
風景ハ　芦管
笑ハ　友里
振向ハ　貞国
女の高ハ　芦邑
ハ　有佐
ハ　友里
ハ　芦管
ハ　芦邑

拘ハ　貞山
門前の景　風志
百年ある　有佐
の中ハ　常仙
松ハ　貞屋
ハ　有佐
余
園　貞山

柳ハ　貞国
無数の　芦管
窓ハ　友里
村ハ　貞国
動ハ　芦邑
月ハ　友里
夜ハ　芦管
ハ　芦邑

二人南面ふ[illegible]邑形の云 常仙
面を[illegible]紙を[illegible]紙を[illegible]紙の面 貞屋
生を出て鶴を[illegible]也 有佗
深川も[illegible]ひ[illegible]ハ波の[illegible] 貞山
結ての新もたゝふ[illegible]紙風志
ちゝ[illegible]紙を出てもゝひね 常仙
分て轉紙を[illegible]る何機 貞屋
[illegible]酒ふ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ 有佗

古墓町へ[illegible]て[illegible]ゝ[illegible]ゝ 貞国
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ 芦管
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ 友里
[illegible]の[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ 貞国
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ 芦邑
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ 友里
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ 芦管
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ 芦邑

[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ 常仙
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ 貞國
味[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ 貞山
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ 友里
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ 貞屋
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ 有佗
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ 常仙
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ 芦管
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ 貞山

[illegible]

哥仙

[illegible] 一徳

[illegible] 芦翁

[illegible] 仝

[illegible] 一徳

[illegible] 芦翁

[illegible] 貞陸

[illegible] 貞隣

[illegible] 貞宿

[illegible] 貞國

哥仙　上州藤岡連

[illegible] 貞川

[illegible] 貞賀

[illegible] 貞

[illegible] 一徳

[illegible] 芦翁

[illegible] 仝

[illegible] 一徳

[illegible] 芦翁

[illegible] 貞笠

[illegible] 一徳

[illegible] 芦翁

[illegible] 芦遊

[illegible] 芦遊

[illegible] 一徳

[illegible] 芦翁

[illegible] 一徳

[illegible] 芦翁

[illegible] 霍山

[illegible] 東川

遠都とのへ尼こ作この品とり　、
歌どなの釣り入りこれこ候一　徳
探遠の者発と出る者れ月　、
秋でも風のかりる人也　芦翁
多賀七五の射鶴て浦の曲こむつむ　、
ちこ〜ヤハ新のたこそう一　徳
川作のむ〜徒とへたくろ　、
蔵葉の浦も能る鼻面　芦翁

る好の猫徳とうて蓑て見旦山
日八きるうんれく海蓬金周賀
浦風ふかもれ色ゆうる色芦夕
笹の中うこ考け考文里
余
素面に一枝拾うて海の芦遊
北辰星八曲乃献辰貞陸
蓬拾に彩ずす猫とこの鬼湖雲
師走もけるうゆ〜永宿貞宿

蔵人こと出新の開花ゆ蔵る　、
星こ鶴色も鳴か乃蔵一　徳
世清のこ蔵こ出ゆ須蔵備　、
雄撫ふ家の米搗　、
清蔵こ人一階こ出ゆき楽　芦翁
岩子新こ出れ多花蔵こ出　、
月蔵ゆ鶴こ蔵ゆ出明ゆ蔵　、
囲蔵蔵色出ゆ〜風の月蔵一　徳

ゆこゆ蔵こ出れ階こ出ゆ蔵　面西湖
蔵こ山こ出ゆ浮蔵蔵こ出鶴山
内猫の東清蔵蔵出ゆ蔵こ出東川
設共清蔵こ出ゆ蔵色芦汶
石蔵こ二階こ出ゆ蔵こ出蔵こ周賀
青蔵蔵色蔵ゆ出れ蔵こ出貞川
浮蔵蔵色蔵ゆ蔵こ出蔵こ出貞隣
古出蔵新色蔵ゆ蔵こ出湖遊

時とゝのふたる人園　雨　、

手の舞と踊みかまるゝ倉岩芦人翁　文里

ゆくゝ春と春ゝ人ゝる一徳

秋くゝ春ゝ七ゝ十ゝ九花の山芦翁

更拾ゝ人ゝ十かゝと里書　、

哥仙　上州岩井連

春と世ゝ春ゝ春ゝ人ゝ春ゝ九貞笠

打出ゝ山ゝ春ゝ春ゝ花ゝ山琴

獅子ゝ法ゝ花ゝ代ゝ春ゝ南ゝ春ゝ芦夕

ゆゝ声ゝと人ゝ人ゝ鶴ゝ春ゝ人ゝ閑ゝ文里

ゆくゝ春ゝ人ゝ聞ゝ春ゝ人ゝる且山

やゝ春ゝ人ゝ春ゝ人ゝ春ゝ人ゝ春ゝ貞賀

七ゝ閑ゝ人ゝ春ゝ人ゝ春ゝ人ゝ貞笠

哥仙

四季の景ゝ春ゝ人ゝ春ゝ人ゝ春ゝ貞鶴

怪ゝ春ゝ人ゝ春ゝ人ゝ春ゝ貞山

九ゝ春ゝ人ゝ春ゝ人ゝ春ゝ人ゝ春ゝ傷好和

春ゝ人ゝ春ゝ人ゝ春ゝ人ゝ春ゝ松仙

ゝ春ゝ人ゝ春ゝ人ゝ春ゝ人ゝ春ゝ蘆里川

春ゝ人ゝ春ゝ人ゝ春ゝ人ゝ春ゝ人ゝ春ゝ貞雨

春ゝ人ゝ春ゝ人ゝ春ゝ人ゝ春ゝ人ゝ春ゝ貞玉

秋ゝ春ゝ人ゝ春ゝ人ゝ春ゝ人ゝ春ゝ人ゝ春ゝ淵水

仕ゝ春ゝ人ゝ春ゝ人ゝ春ゝ人ゝ春ゝ人ゝ春ゝ里水

かゝ春ゝ人ゝ春ゝ人ゝ春ゝ人ゝ春ゝ人ゝ春ゝ松鳥

姉むく町のあまくさく次 里鶴
秋遠江本藩とあるく次第貞峰 琴山
秀清さくれ 秋の淀ひ 淵柳
かくまのく長崎とあるの月を書 松仙
出船おりて出に拵うる 好和
り秋と岩久ヶ戸の長加減 貞笠
拉山湯治のなるれ八 桐翠
花望花前浮へと連歩行 里水

子面茶和の拵うへ多みく 貞橋
秋の月茶漬の塩ひ杜ひ 貞玉
仏参うひと寺と寺の縁 貞國
寺と祖の医者うかうと拵て 貞鶴
二階座敷くと子働き芦翁
矢さけもの寺も寺の面拵 貞橋
口と吸きて乳とりて見 貞國
蛙くさくれ出と出のあ 貞雨

秋くれ日、暮るの上寺 執筆
名
七ひとの次の秋の春る書 琴山
花数繁の新くうりて 松鳥
意すて寺後くうれ完拵 淵柳
さかくく拵ものくまく 淵水
一間行く涼くさ渡る春く 里川
面と実は八昔の祭くうれ 貞笠
瀧壺と酒くて春おれう 好夕

やまひ実拵どうの芦翁
名
切て赤江蕃もの実書 貞玉
数白くくれる家寺 貞鶴
春の新拵ものの春 貞雨
娘の寺の新拵と持 貞橋
かる時と二十の酒、寺 貞玉
乞食の新く支橋の作 貞國
十分江蕃も涼て渡の月 貞鶴

夕秋寺あれ牛の角ふり　里水
あやまち岩の角さえぬる　桐翠
うみ芋の湯ゆ出る人に　里川
嫁の孝を絵とさしたる　里霍
ものを思くを狂ひ　淵水
多の事合と少を人なりに　桐翠
伊勢海人と名も　里霍
花菜は孫と摘せた人も　淵柳

栗と蕎麦に暮ふ　貞橘
百姓の納ふ　貞芦翁
乱撥婆の笑顔見ふ　貞雨
蓋義の見代ふ初くれ　貞玉
竹藪て産の産ふ　貞國
多の女の子人は　貞雨
艇こ乗りて上る　貞鶴
檀方は俗伝海て　貞玉

吸上ふ　松仙
見度に　孤島
住保姫　琴山

半哥仙

濡て咲る　木春
百姓の　文耕
生嬢の　貞里
指ひしか　木春

乱の多い　芦翁
栗を雪に　貞國
表紙こそ　貞橘

半哥仙

花芳ひ　貞菊
尻むそう　芦翁
産飛り　貞菊
姓うつり　貞菊

[illegible] 文耕

[illegible] 貞里

[illegible] 文耕

[illegible] 貞里

[illegible] 木春

[illegible] 文耕

[illegible] 貞里

[illegible] 木春

[illegible] 芦翁

[illegible] 貞菊

[illegible] 芦翁

[illegible] 貞菊

[illegible] 貞里

[illegible] 木春

[illegible] 貞里

[illegible] 文耕

[illegible] 木春

[illegible] 貞里

[illegible] 文耕

[illegible] 木春

[illegible] 文耕

[illegible] 芦泰

[illegible] 芦翁

[illegible] 貞菊

[illegible] 貞里

[illegible] 文耕

[illegible] 木春

[illegible] 貞里

[illegible] 文耕

[illegible] 木春

[illegible] 文耕

半哥仙

[illegible] 芦泰

[illegible] 芦翁

[illegible] 貞菊

半哥仙

[illegible] 虎山

[illegible]と出ることすくなく晩晴　芦翁

[illegible]つくりと市の戸番柳の影　芦舟

、　[illegible]

[illegible]する程をよく吹いたり　芦泰

[illegible]月ふ[illegible]合ようきく小盞　、

相撲の[illegible]秋の[illegible]　芦翁

[illegible]しくもりやうを[illegible]村[illegible]　、

[illegible]と[illegible]　、

人[illegible]の[illegible]とつくんで[illegible]　長　芦泰

柳のこずえ揺ふ秋風　貞山

[illegible]　芦舟

[illegible]の[illegible]　錦山

[illegible]の[illegible]　山

[illegible]　貞雨

[illegible]　貞山

竹輿[illegible]　虎山

[illegible]　錦山

[illegible]　、

[illegible]　、

[illegible]　芦翁

[illegible]　、

[illegible]　、

[illegible]　芦泰

[illegible]　、

[illegible]　芦舟

[illegible]　貞雨

[illegible]　山

[illegible]　、

[illegible]　山

[illegible]　、

[illegible]　山

[illegible]　、

[illegible]　山

[illegible]　、

[illegible]　貞山

[illegible]　、

[illegible]　芦泰

[illegible]　、

[illegible]　芦舟

[illegible]　貞雨

[illegible]

半哥仙

[illegible] 圓山

[illegible] 貞山

[illegible] 芦翁

半哥仙

[illegible] 栄松

[illegible] 桃里

[illegible] 貞雨

[illegible] 芦翁

[illegible] 栄松

[illegible] 桃里

[illegible] 貞山

[illegible] 貞賀

[illegible] 貞雨

[illegible] 虎山

[illegible] 栄松

[illegible] 貞賀

[illegible] 桃里

[illegible] 芦翁

[illegible] 栄松

[illegible] 貞山

[illegible] 桃里

[illegible] 栄松

[illegible] 貞賀

[illegible] 貞雨

[illegible] 虎山

[illegible] 栄松

[illegible] 貞賀

[illegible] 桃里

[illegible] 芦翁

[illegible] 鬼山井戸[illegible]節とあり[illegible]の家

[illegible]人[illegible]打[illegible]ふる[illegible]る 貞雨

[illegible]所[illegible]の面と[illegible]る 圓山[illegible]車[illegible]枝[illegible]る[illegible]の山[illegible]翁

[illegible]の[illegible]に[illegible]ぐ[illegible]し[illegible]東[illegible]貞山

[illegible]れ[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible] 栄松

半哥仙

[illegible]の[illegible]の[illegible]の

[illegible]

[illegible]

半哥仙

[illegible]

[illegible]

半哥仙

初雪の糞に落ちて消の流　松原氏　貞州

月数ぶ松

[illegible]

かさねてもひとの数ぶてるこ

[illegible]

盟にすりるるの墨斗

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 水亀
[illegible] 菊寵
[illegible] 水羽
[illegible] 菊山
[illegible] 水荷
[illegible] 水延
[illegible] 菊要
[illegible] 芦橋

脇の眉も乱れ[illegible]
法園の[illegible]本徳の奏 芦翁
[illegible]
[illegible]の[illegible] 野牛
[illegible]
[illegible]れす 呪の長 芦翁
[illegible]
[illegible]も[illegible]と伸長する[illegible] 野牛

[illegible]
[illegible]の[illegible] 水巳
[illegible]
[illegible]の[illegible]と[illegible]と[illegible] 菊寵
[illegible]の[illegible]ねらって[illegible]清 水羽
[illegible]紙[illegible]と[illegible]る[illegible] 開山

裏白

[illegible]

裏白

[illegible]
[illegible]
[illegible]

蕉門の富貴やむのうけ伝　蕉柿堂　貞至

懐紙和歌の系とかうする芦翁

あやまつ人間は業に能ちて貞屋

孫うも種のまうて西湖船　田

石菖に古歌の詠の理屋芦翁

う秋風を命ちそれ貞良

先祖に跡て後生と人変う湖松

五代業代に教の蘭鉢貞屋

海産て来う海赤の業

秋さらし式遠孫もはうけうき

下ろの山形遊さるる海の

田系いのの人うう帆色

才侍丈八のまと西出る

ひり年町年花年

春の孫も正入りの月

四季

春

もとと出て霞にひせてる初雲　貞至　星川

宿を捨て行春うこそ雲の春

梅業や梅八洲ひくる春の庭

元食うしゝ人ゝ春初ゝ歌明月

夏

杉屑く蓋のムやむ大根　貞賀

海業の人務さ多業の前

新蕎の歌の会

ゆくとうう人蕎に接ゝ蕎ゝ貞し

年行蕎年に

引ゝ接

月や新年に初ゝ蕎

源蕎る右ゝ蕎ゝ接ゝ

蕎に鉢ゝ蕎に好れ蕎ゝ

又蕎や蕎ゝ右ゝ人ゝ蕎

接蕎や十二ゝ月ゝの接ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同　十方句集　全撰　全四冊
同　續故人五百題一具庵一具撰　小本二冊
同　類聚　八朶園寥松撰　中本二冊
俳諧新發句類聚　全撰　全二冊
俳諧發句類題　全撰　全二冊
同　古今撰　蕪菴蟹守撰　中本二冊
四季發句帳

臼[illegible]七五三　艸丸大人輯　全一冊
俳諧發句新類題　六合菴方里輯　中本二冊

○句集之部

嵐雪句集　一稱方峯集　全二冊
其角句集　坎窩久藏撰　小本二冊
蓼太句集　全六冊
吏登句集　全一冊

巢兆句集　全一冊
完来發句集　全二冊
蕪翁宗因發句集　半本二冊
太無發句集
存義發句集
獅子眠發句集
柳居發句集

糀狀瓶　甲斐州九集之
蔦里句集　李白の集
護物七部集　少本二冊
〇李寄之部
意の栞　華雪庵北元著　小本一冊
俳諧手挑燈　一名俳僧初心手引草　中本二冊
同　掌中小本　全一冊

俳諧四季名寄　季寄大成の五冊、旦名西を附加ス　寸玲一冊

俳諧袖鏡　一枚摺

季寄便覽　横本一冊

のくしゐ系譜　小本一冊

俳諧通言

○文之部　当時まで者の人名文をあつむ

新編俳諧文集　全三冊

○

袖定規　表俳僧定座変体之図

七部集その外古俳諧の変化ゆゑ是を三種に分ち各一図ずつ五色俳諧の自筆を一図ずつ加へ

俳諧觴　自初編今天保迄至凡三十編

○掌中寸珍物　海数ゑまは自今俳集叶ふゆゑ

掌中五百題初編　集叶初編

同　二編　集叶二編

同　三編　集艸三編
同　芭蕉發句集　集艸四編
同　其角發句集初編　集艸五編
同　二編　集艸六編
同　三編　集艸七編
同　嵐雪發句集初編　集艸八編
同　二編　集艸九編
同　乙由發句集　集艸十編
同　蓼太發句集初編　集艸十一編
同　二編　集艸十二編
同　新五百題初編　集艸十三編
同　二編　集艸十四編
同　三編　集艸十五編
同　古今撰　集艸十六編

猶追々出刻

○假名遣物目録

万葉用字格　春登上人撰　懐中　折本一冊

万葉集をよむに当りて正仮を分ちて用ひたるもの

尚古假字格　山本明清大人撰　全　全一冊

紀記万葉以下古籍のうへを撰

今古假字格　高井八穂大人撰　全　全一冊

古今を合せ一目に見やすくしたるもの

對照假字格　長野美波留大人撰　全　全一冊

上代の本にあり

定家のうへ遣　新校　小本一冊

音便假字格　春登上人撰　全一冊